

事業概要：「住む」「働く」「訪れる」@Hyogoプロジェクト

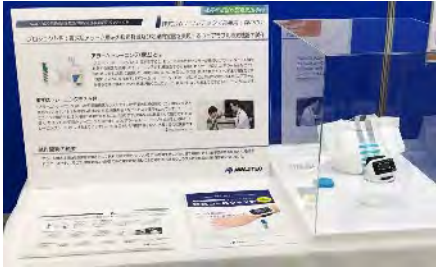
旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	436,479千円 (145,493千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地方移住に関心が高い都市圏居住者に対し、大規模イベントの実施やターゲットの拡大につながる効率的な情報配信などによりUJI ターンの促進を図り、社会減から社会増への転換を図る。 地域住民等によるビジネス手法を活用した地域課題の解決支援や多様な分野への就業支援により、持続可能な地域づくりと雇用の推進を図る。クルージングMICEやアニメツーリズム等、発想の転換と新たなコンテンツ発掘による持続可能な観光地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大規模イベントの実施やターゲットの拡充や効率的な情報配信、地域住民等によるビジネス手法を活用した地域課題の解決支援、多様な分野への就業支援やクルージングMICEやアニメツーリズム等、新たなコンテンツ発掘等を行う。		 首都圏で全国規模の移住促進イベント(イメージ)
	【R8年度事業 経費内訳】 ・移住への関心が高い層への情報発信を強化するため、移住相談だけでなく、就労、就農を含めた単独開催によるフェア開催（委託料）20,000千円 ・Webによるターゲティング広告等あらゆるメディア広報媒体を活用した情報発信（委託料） 15,883千円 ・兵庫を元気にしているすごい人物等、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信（委託料等） 11,056千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住施策によって県外から転入した人の数（+1,200人） ②県内大学卒業生の県内企業への就職率（+4.2%） ③県内観光消費額（+43,500億円） ④県内観光入込客数（+900万人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chiikimiraisuishin.html

事業概要：しごと創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	424,482千円 (141,494千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	若い世代の就業ニーズに応じた産業の創出や、若者にとって魅力を感じられる企業の増加を目指す。 ・成長産業4分野を重点的に育成し兵庫経済の競争力を高める。 ・多様な働き方や活躍しやすい環境を整備し若者の定着を図る。 ・中等教育でのアントプレナーシップ教育を実施し、若者の起業の活発化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若い世代の就業ニーズに応じた産業の創出や、若者にとって魅力を感じられる企業の増加を促すため、研究開発やビジネスプラン等へ支援する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県内の中小企業を含む産学官のグループによる産業創出を図るため、産学官が連携して取り組む研究開発に係る費用を補助 (補助金) 16,000千円 ・DX導入・現場改善・生産管理システム導入等生産性向上等を支援(委託料) 65,801千円 ・デジタル技術を積極的に活用する若者のビジネスプランへの支援(補助金) 33,000千円 ・県内中学校、高等学校への社会課題解決型起業家精神養成プログラムの導入等の若者起業人材育成 (委託、補助金等) 18,126千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者(20歳代)の転入超過数(+4,260人) ②成長産業(環境・水素等新エネルギー、航空・宇宙、ヘルスケア・AI・IoT、健康・医療)の企業数(+21社) ③県内生産性向上達成企業の増加数(+9社) ④開業率の全国順位(+1位)		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chiikimiraisuishin.html



成長産業強化 企業例
ウェアブル感触機器
(株) アワジテック



ものづくり支援センター
(生産性向上支援) イメージ
ロボット導入支援

事業概要：訪日外国人等観光客誘致プロジェクト～「世界一の食の島」を目指して～

継続

申請者	兵庫県ほか 3 自治体※						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,760千円 (26,920千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	「淡路島ならではの本物体験」等コンテンツの造成・磨き上げや周辺地域の空港を活用したプロモーションを行うことで、消費単価の高い訪日外国人等を誘客し観光消費額の向上を促す。 「世界一の食の島」を目指し、ガストロノミー的要素を含んだコンテンツの造成・磨き上げを行い、淡路島の多様な「食」や「食材」のブランド化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 訪日外国人等観光客に向けた「淡路島ならではの本物体験」等のコンテンツの造成や周辺地域の空港を活用した誘客プロモーションを行う。また、ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツ造成を行う。						訪日外国人等観光客に向けたコンテンツの発掘・造成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 訪日外国人等観光客誘致戦略の推進 ・専門人材の登用（報償費）5,928千円 訪日外国人等観光客受入環境の整備 ・コンテンツ予約ページの多言語化（委託費）2,920千円 アフター万博を見据えた訪日外国人等観光客誘客戦略事業 ・アジア圏でのプロモーション（委託費）4,800千円 ・空港等を活用したプロモーション（委託費）4,790千円 「世界一の食の島」に向けた取組の推進 ・ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツの開発（報償費）1,000千円						「世界一の食の島」に向けた「食」のブランディング化	
主なKPI	①宿泊者に占める外国人観光客（+1.2%） ②観光GDP（+85億円） ③訪日外国人等観光客向け観光コンテンツ造成数（+30件） ④観光客の消費単価（宿泊者）（+10,000円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c/hiikimiraisuishin.html

※兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市の広域連携事業

事業概要：活力ある地域経済づくりプロジェクト

継続

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	794,238千円 (264,746千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	ひょうごを牽引する新たな産業の創出するため、成長産業の育成とひょうごスタートアップエコシステムを構築する。 中小企業の持続可能性と収益性を両立した循環経済の実現を目指し、その経営基盤強化を図る。 ひょうごの経済を支える人材の確保・育成を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新産業の創出・成長への支援の充実・強化、中小企業の経営基盤の強化や、地域経済を支える人材への投資促進を行う。					 インターンシップの様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・航空機産業セミナーの開催、研修等によるグリーン化等の環境変化に対応した生産技術指導の実施（補助金） 25,292千円 ・若者のビジネスプランのブラッシュアップや伴走支援、スタートアップの起業や事業成長に必要な経費の補助（委託料、補助金） 25,352千円 ・スタートアップ企業と産学官の研究チームによる研究開発補助（補助金） 21,000千円 ・地場産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援（委託等） 25,022千円 ・大学生と中小企業のマッチングを促進するためのインターンシッププログラムの作成支援やテーマ型インターンシップ、探求型ブレインターンシップの実施（委託等） 17,802千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品付加価値額（+2,349億円） ②地場産業生産額（±0億円） ③スタートアップ創出数（+90件） ④DX導入支援により実装に結びついた件数（+33件） ⑤県内大学卒業生の県内企業就職率（+4.8%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c/hiikimiraisuishin.html

インターンシップの様子

事業概要：持続可能な農振水産業の推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	390,371千円 (124,507千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果								
先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進することにより、作業の省力化など生産性の向上と產品の高品質化等を図る。本県の強みを活かし、需要と直結した品目・品種の生産の新展開を図り、さらなるブランド戦略の展開する。農地の持続的な活用・保全を図るため、担い手や自給的農家、非農家等が、営農や草刈り、水路管理等に関する役割分担の合意のもとに 地域全体で継続していく取組を推進する。地域資源の活用や環境の保全に地域ぐるみで取り組み、集落機能の維持等を図る。								
事業概要・主な経費							【事業概要】 スマート化による新しい農業の展開、地域の強みを活かした需要と直結した生産の新展開、地域の多様な人材が支えあう持続可能な地域協働体制の確立、漁業者の労働環境の改善の支援、農業被害を防ぐ地域づくり等を行う。 ----- 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・但馬牛・神戸ビーフの生産性向上と安定生産を図るため、DX技術の導入等により生産性向上に向けた取組を推進（補助金） 20,000千円 ・温暖化に対応した水稻の品種ニーズに対応するため、種子産地の品種転換に向けた取組を支援（補助金） 19,000千円 ・農業や農用地保全活動と併せて、地域コミュニティの維持に資する取組を行う農村RMO組織の運営を支援（委託、補助金等） 3,746千円 ・漁業者の人材確保のため、漁労作業の省力化等労働環境改善を支援（補助金） 16,500千円 ・放置竹林の拡大防止のため、伐採・保育に係る経費の支援と竹を活用した土系舗装の実証実験を実施（工事費、補助金等） 4,000千円	
主なKPI							URL	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c_hiikimiraisuishin.html

事業概要：多様な地域資源を活かしたエンパワーメント推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	745,477千円 (266,063千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	人の動きを活発化させるため、人材育成や中間支援機関のネットワーク化、またエリアマネジメントを導入したまちづくりなどにより地域の魅力を高め、持続可能な地域づくりを展開するとともに社会増を目指す。 五国の多様で固有の資源を活かし、磨き上げをしながら魅力を向上させ、その土地ならではの食や文化に触れる機会、地元の人々との交流やローカルな体験など、地域一体となった兵庫ならではの取組を進め、2025年大阪・関西万博、ワールドマスターズゲームズ2027関西、神戸空港の国際化などを好機とした交流人口の拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人材育成や中間支援機関のネットワーク化、エリアマネジメントを導入したまちづくり、地域資源の磨き上げなどにより地域の魅力を高める。						 移住相談の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域活性化に熱意のある県民、事業者、団体等各主体の交流の場となるプラットフォームを構築し、事業者とのマッチングが成立した先導的取組に対し補助（委託、補助金等）18,882千円 ・地域づくりのトップランナーが所属する団体と若者をマッチングし、団体のもとで地域活動の体験実施（委託等）4,860千円 ・県内外へのひょうごの魅力発信、移住の促進を図るため、WEBやメディアを活用した広報、市町と連携したイベント等の開催などによる積極的な広報展開（一部委託料）81,478千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人を含む県内への転入超過数(+12,700人) ②移住施策による県外からの転入者数(+3,900人) ③県内観光消費額（+1,386億円） ④公民連携による地域創生事業支援数（+30件） ⑤空き家活用件数（+330件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chiikimiraisuishin.html

事業概要：次代を担う若者の活躍推進プロジェクト

継続

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	405,108千円 (137,645千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	次代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向け、若者・Z世代を直接応援する取り組みを推進していく。 ・多様で安心して学べる環境整備 ・子どもを産み育てやすい環境整備 ・多様な働く場の創出に向けた環境整備						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様で安心して学べ、子供を産み育てやすく、また、多様な働く場の創出に向けた環境整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・全県立高校において、地域の核となる人材を育成し、地域への愛着を醸成するため、生徒が地域の行事等へ参画し、地域企業での就業体験や事業提案等をする取組実施 77,000千円 ・義務教育段階における教育機会の確保のため、フリースクール等民間施設に通う児童生徒の家庭に対する支援を実施（補助金） 29,100千円 ・プレコンセプションケアを推進するため、動画等を活用した普及啓発を実施（委託等） 8,000千円 ・不妊治療と仕事の両立を推進するため、動画等を活用した普及啓発、企業への専門家派遣、研修を実施（委託等） 3,303千円 ・企業の人手不足や外国人の県内定着を図るため、外国人雇用に関する企業認定制度により、認定企業による外国人材の採用を支援（委託等） 13,221千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ファミリー層の転入超過（+3,900人） ②将来、ふるさとで働きたいと思う生徒の割合（+13.5%） ③不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合（±0%） ④合計特殊出生率（±0%） ⑤安心して楽しく子育てができると思う人の割合(5.6%) ⑥県内外国人労働者数（+199,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c/hiikimiraisuishin.html

事業概要：安全安心・居場所創造による地域活力創造プロジェクト

継続

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,248千円 (55,804千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 子どもの安全確保や犯罪防止など、地域の安全を向上し、安心して暮らせる地域社会を構築する。 - 高齢者や障害者が自立した生活ができる環境や住み慣れた地域で安心して生活できる環境、及び同居家族も孤立することなく支えることができる環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな詐欺へ対応するため、被害防止に向けた普及啓発を強化するなど地域全体で安全・安心を守る体制の強化、「農福連携」のマッチング支援を通して地域の高齢者・障害者等の居場所づくりの確保を行うことで、地域全体の活力が向上し、持続可能な地域社会の形成につながる。					 【ユニバーサル農園 神崎郡福崎町】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・特殊詐欺等被害の未然防止及び犯罪実行者の発生防止のため、SNS等を活用した情報発信や地域と連携した講習会等を実施 10,000千円 ・家族介護者の離職を防止するとともに、中重度の要介護高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、24時間対応在宅介護サービスの事業者の新規参入を促進し、サービスの普及を図るため、新規事業所開設を支援（補助金） 27,806千円 ・農業者と福祉事業所等をつなぐ体制を構築するため、農業者、福祉事業所、行政等を構成員とした協議会の設立、農業者と障害者等をマッチングするワンストップ型のアプリの構築、農福連携技術支援者の派遣等によるフォローを実施（一部委託）5,626千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域で治安が良く、安心して暮らせるとしている人の割合（±0%） ②住んでいる地域での介護の安心感において「安心感がある」「どちらかといえ ば安心感がある」の割合（±0%） ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備数（+39箇所） ④農福連携取組件数（+20件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c/hiikimiraisuishin.html

繼續

申請者	兵庫県、太子町						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,670,000千円 (1,050,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓		
目的・効果	民間資金を活用した産業団地開発にあわせて、確実な企業の誘致と誘致企業の発展を促すために、ソフト事業とインフラ整備事業の両輪で実施することで、雇用を安定的に確保し、太子町の財政安定化に寄与させ、持続可能な行政サービス水準の維持を図る。 高校生や大学生向けのキャリア形成を考えるきっかけを与える事業、誘致企業と太子町内企業の経営者や従業員向けのセミナー開催、産業団地周辺の魅力を高め、近隣住民が産業団地開発を受け入れやすくするインフラ整備により、企業誘致と新規雇用者数増加の確実性を高める。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高規格道路や、国際拠点港湾近くの民間資金を活用した産業団地開発にあわせて、人材確保を課題とする企業の支援やUIJターンの促進と地元定着、企業の誘致の確実性を高める事業を行う。						 大学生将来像提案イメージ 高校生就業体験イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・高規格道路や国際拠点港湾、民間住宅供給が予定される区画整理事業箇所から産業団地へのアクセス性を向上させるため等の道路改築事業 1,050,000千円 ・産業団地操業に必要な下水道敷設 0千円							
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+16人） ②企業誘致候補箇所に占める誘致企業面積割合（+20%） ③道路整備による交通転換量（+4,000台） ④下水道の1日当りの排水量（+20m³/日）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chii_kimiraisuishin.html

事業概要：「（仮称）道の駅姫路」整備事業

継続

申請者	兵庫県、兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,769,568千円 (115,710千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・姫路市の観光客の7割が車利用である等の現状から休憩機能や情報発信機能を備えた道の駅を新たに整備する。これに地元製品の販売や飲食、交流・利便性向上機能を備えた地域振興施設を加え、一体型の道の駅として兵庫県と姫路市共同で整備することにより、市内の観光消費額の増加等の経済波及効果が期待される。 ・広域防災拠点としても位置づけられる予定であり、災害時には応急活動要員の集結・連絡拠点としても活用する。 ・民間の技術力や経営力を活用した（DBO方式）により、効率的かつ魅力的な施設整備を目指す。 ・地元の農畜水産物等を活用した道の駅の商品開発補助事業やプロモーション事業を行うことによりさらなる効果の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国道372号沿いに道路休憩施設、情報提供施設に地元製品の販売や飲食、交流・利便性向上機能を備えた地域振興施設を加えた一体型の道の駅として整備する。（民間の技術・経営力を活用したDBO方式を採用）また、地元の農畜水産物等を活用した道の駅の商品開発やPR事業を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築工事及び造成の設計を実施 80,542千円 ・建築工事及び造成工事の着工準備を実施 0円 ○インフラ整備事業 ・駐車場・道路休憩施設・情報提供施設の整備 30,000千円 ・道路改築事業 5,168千円						
主なKPI	①姫路市の観光消費額（+14,071百万円） ②姫路市の観光入込客数（+3,715千人） ③道の駅姫路の売上額（+383百万円） ④道の駅姫路の利用者数（+369千人）					URL	【兵庫県】 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chii/kimiraisuishin.html 【兵庫県姫路市】 https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

事業概要：サステナブルツーリズムによる阪神南地域の魅力発見プロジェクト

継続

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,510,000千円 (1,317,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・大阪・神戸の中間にあり、公共交通機関でのアクセス性が良く、都市部でありながら多様な地域資源を有する阪神南地域をフィールドに、「環境」、「文化」、「スポーツ」、「経済」の観点で持続可能かつ発展性のあるツーリズムを推進する。 サステナブルツーリズム：訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光(国連世界観光機関(UNWTO)) ・環境負荷が小さい自転車での移動を基本とし、武庫川の干潟や尼崎21世紀の森などの「環境」、阪神間モダニズム、伝統的酒造りを行う今津郷・西宮郷などの「文化」、カヌー競技の聖地となっている武庫川河口部や甲子園などの「スポーツ」、工都尼崎の発展の礎となった尼ロック・工場夜景などの「経済」をめぐる体験してもらうことで、地域の魅力を発見してもらい、来訪者の増加、地域の活性化につなげる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 環境負荷が小さい自転車で地域資源をめぐる体験してもらうことで、地域の魅力を知ってもらう機会を創出する。そのために、地域内3市と連携し自転車周遊の拠点となる駅周辺施設・休憩施設を整備するとともに、自転車走行環境の向上、目的地となる観光資源の磨き上げを行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 サステナブルツーリズムを体験し知ってもらうための取り組み ・ 地元・関係機関による協議会設立・実施方策の検討、地域資源を生かしたイベントの開催、公共交通・自転車での移動を想定した周遊マップ・PR動画の制作 17,000千円 ○インフラ整備事業経費 自転車走行環境の向上、観光資源磨き上げ ・ 自転車通行空間整備等 100,000千円 ・ 観光資源の磨き上げ(干潟拡張、マリンスポーツエリアの整備) 1,200,000千円							
主なKPI	①観光消費額（+574億円） ②観光施設の利用者数（+7万人） ③自慢したい地域の宝がある割合（+2.8%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/c_hiikimiraisuishin.html

事業概要：稼ぐ力アップによる地域経済活力創出プロジェクト

新規

申請者	兵庫県、神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	604,932千円 (201,644千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内大学との連携や支援拠点の充実によるスタートアップへの支援や成長産業の創出・参入を促進し、新たな産業を創出する。 地場製品のブランド価値の向上や新技術の活用により産業競争力を強化する。 県内中小企業の振興を図るため、SDG s 取組の推進や事業承継支援により中小企業の経営基盤を強化する。 インバウンドの嗜好に合わせたツーリズムを展開し、海外からの誘客を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スタートアップの支援や兵庫に集積する多様な産業の競争力を高める取り組みや、観光でインバウンド誘客の強化を行う。					 空飛ぶクルマのイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大学発スタートアップを育成するため、研究シーズの発掘事業化に向けた支援 14,046千円 ・起業支援拠点の運営、イベント実施によるネットワーク構築、スタートアップ支援強化に係る経費 74,723千円 ・成長産業である空飛ぶクルマの事業化準備 60,366千円 ・地場製品の海外需要を高めるための集客イベント、産地視察 10,000千円 ・事業承継のポジティブイメージ醸成に向けたセミナー開催、PR動画制作、専門家派遣 5,164千円 ・インバウンド誘客促進に向け、持続可能な観光に関するセミナー、持続可能な観光に関する国際認証取得に向けた相談会開催 3,150千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品付加価値額（+2,951億円） ②スタートアップ創出数（+5件） ③地場産業(主要産地)の生産額（+0億円） ④SDG s に積極的な県内企業の割合（+19%） ⑤外国人延べ宿泊者数（+198万人） ⑥住んでいる地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合（+0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chii_kimiraisuishin.html

事業概要：豊かな食と農充実プロジェクト

新規

申請者	兵庫県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	137,448千円 (62,148千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・水稻における生産コストの低減や収益性の向上に資する革新的な技術の実証するほか、技術習得に向けた研修を実施することで、県内水稻の安定的な生産を図るとともに、高温・渇水の影響を受ける地域で高温に対応する技術を普及し、野菜等生産農家の経営安定を図る。 ・検査システムを効率化し、衛生面の向上や雇用就労環境の改善することで、畜産物を安定的に生産する。 ・幼児期からの有機農産物への理解促進や、農業者への先進事例情報提供による機運醸成により人と環境にやさしい持続可能な農業を推進する。 ・インバウンド向け県産酒米を使用した日本酒の商品開発や産地のPRによる県産農産物のブランド力を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内水稻の安定的生産のための革新的技術導入や稲作農家の育成、畜産物の安定的な生産、人と環境にやさしい持続可能な農業の推進、県産農産物のブランド力の強化等を行う。					安定的な生産のための技術実証例   ドローンによる水稻直播 高温対策のため展張した遮光カーテン	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・水稻収益性の向上に資する革新的な技術の検証（委託料）10,000千円 ・高温・渇水による減収や品質低下等の被害低減に向けた各産地における対策技術の検討・実証（委託料等）6,692千円 ・食肉検査システム構築（機器整備費、委託料）26,198千円 ・人と環境にやさしい農業のイメージ戦略策定、普及支援(委託料)5,378千円 ・インバウンド向け県産酒米を使用した日本酒新商品開発・PR経費（補助金）2,500千円						
主なKPI	①農林水産業産出額（+80億円） ②畜産産出額（+27億円） ③県内における有機農業取組面積の状況（+549ha） ④新たに、農業、林業、漁業に就いた者の数（+11人） ⑤海外市場開拓数（+47国・地域） ⑥地元や県内の農林水産業に活気があると感じている人の割合（+0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chii_kimiraisuishin.html



ドローンによる水稻直播



高温対策のため展張した遮光カーテン

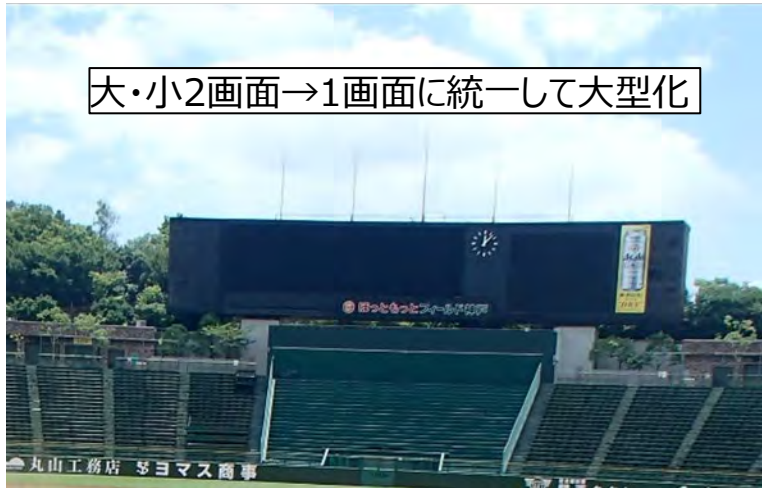
事業概要：地域や人をつなぐご縁（五縁）プロジェクト

新規

申請者	兵庫県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	742,918千円 (260,752千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域の活動現場を地域の人々が発信、多くの人に体験していただくひょうフィールドパビリオンの魅力向上やプロモーションにより、認知度向上や誘客促進による地域の活力を高める。 広域的な集落の機能を支えあう住民主体の地域運営体制を構築するとともに、豊かな自然環境の保全による持続可能な地域を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ひょうごフィールドパビリオンの磨き上げや情報発信の強化、持続可能な多自然地域プロジェクトの検証や次期施策の検討、環境保全による持続可能な地域づくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・フィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラムの磨き上げ（委託料等）6,000千円 ・フィールドパビリオンの広報、動画作成等（委託料等）22,816千円 ・フィールドパビリオン関連県産農産物を活用したグルメフェア等の開催（負担金）4,886千円 ・各地域におけるフィールドパビリオンを活用した魅力発信：70,467千円 ・持続可能な多自然地域プロジェクトの検証、次期施策検討会開催、マニュアル策定（委託料等）4,664千円 ・環境適合型社会の実現に向けた調査や集客イベントにおけるリユース素材使用促進（委託料等）8,859千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または、参加したいとおもっている人の割合（+0%） ②県内観光消費額（+1,386億円） ③地域支援人材の不足を補うため、新たに地域支援手法に取り組む市町数（+8市町） ④住んでいる地域で山、川、海などの自然環境が守られていると思う人の割合（+0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/chii_kimiraisuishin.html

事業概要：神戸総合運動公園野球場リニューアル整備事業

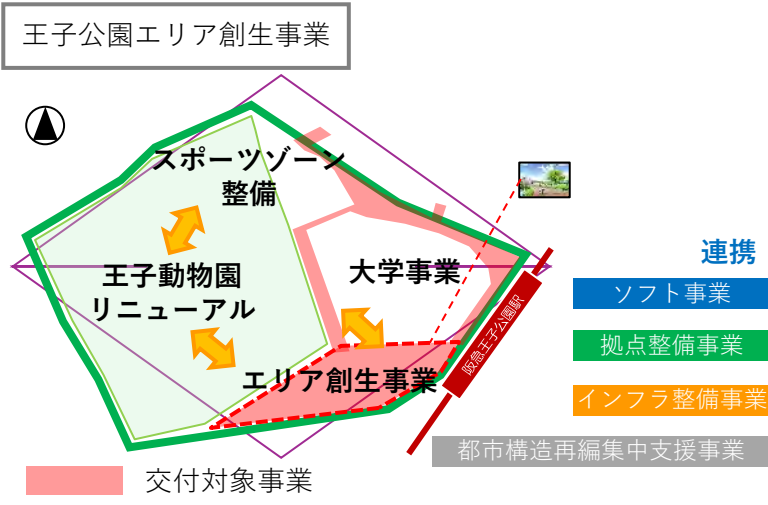
継続

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	524,769千円 (200,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・神戸総合運動公園野球場の大型映像装置を大画面表示にリニューアルして、表示内容の充実を図る。これにより、観戦環境や利用環境の更なる向上を図り、球場管理者等と協力して球場利用を増加を目指す。その効果として、周辺地域全体の地域経済のほかスポーツ振興の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大型映像装置の大・小2画面を1画面に統一して大画面表示が可能なスクリーンへ更新し、観客にとって見やすく臨場感のある映像を見ることができるようにする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 R8年度事業費200,000千円 ・大型映像装置躯体改修工事（1年目） 20,000千円 ・大型映像装置設備工事（1年目） 180,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①プロ野球の開催による経済効果（+180百万円） ②野球場利用人数（+5,000人） ③関西広域及び県大会規模の大会やプロスポーツ試合の誘致件数（+1件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2030visioinsuishin.html

事業概要：イノベーション創出による地域経済活性化支援事業

継続

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	366,380千円 (129,460千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	神戸経済全体の持続的な成長のために、海外、他都市における市場開拓、雇用機会の創出を目的として、スタートアップや市内企業の新規事業開発を支援する。 イノベーション人材、次世代産業創造人材の育成支援から、地域課題解決のための神戸市等のアセット、リソースを活用した実証支援、神戸市におけるオープンイノベーションの活性化により、地域一体で神戸市を「イノベーション創出の場」にすることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 神戸経済の持続的な成長に繋ぐため、イノベーション創出にかかる次世代産業創造人材育成支援事業や、開発・実証に対する支援を行う。また、神戸市がイノベーション創出の場となるための仕組み構築のため、各支援機関との連携を進める。					 新規事業開発支援講座（イメージ）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新事業開発支援：26,260千円 ・次世代産業創造人材育成：39,000千円 ・東京圏からの人流還元：16,000千円 ・開発・実証支援： ・運営費（委託）・・・2,200千円 ・開発支援（補助金）・・・20,000千円 （うち、施設整備・事業設備・備品経費：8,000千円） ・実証支援（負担金）・・・16,000千円 ・海外支援機関等との連携促進：10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな商品等の開発件数（プロトタイプ含む）（+15件） ②開発・実証実験件数（+51件） ③共創マッチング件数（+46件） ④セミナー、イベントの参加人数（+2,400人） ⑤スタートアップ設立数（+48社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2030visioinsuishin.html

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,621,348千円 (801,220千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・緑豊かで市民の憩いやスポーツ、子供たちの学びや成長の場となり、災害時には広域防災拠点として、まちの魅力や安全・安心に寄与する公園にリノベーションすることにより、時代の変化に対応した更新及び新たな価値の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 動物園のエンタランス空間および一体となった王子公園のエンタランス空間～滞留・交流空間の創出を行う。また、これらの公園整備に伴い必要となるインフラ整備や園地園路整備を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・戦略的プロモーション活動 20,000千円 ○拠点整備事業 ・王子公園エンタランス整備 91,410千円 ○インフラ整備事業 ・王子公園インフラ整備および園地・園路整備 689,810千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若年層人口（+1,100人） ②公園利用者人数（+300千人／年） ③王子公園駅乗降客数（+650人／日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kobe.lg.jp/a76835/ojikoensaiseibi.html (効果検証) https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html

事業概要：神戸高専地域共創テクノセンター整備事業

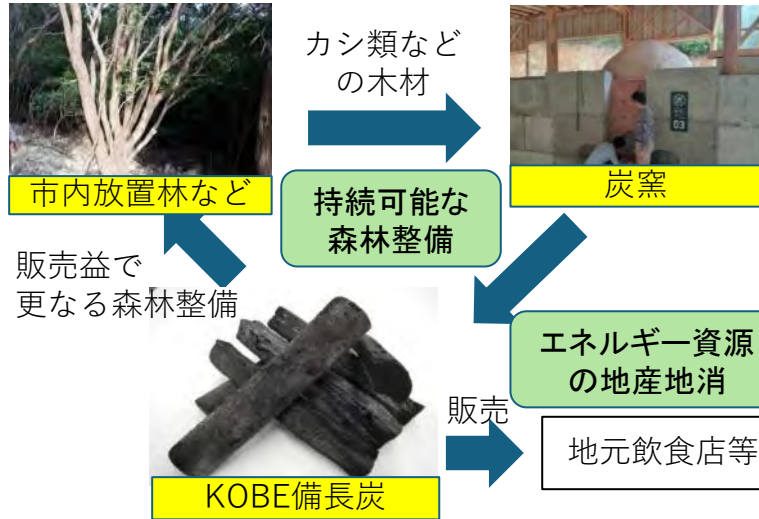
継続

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	778,531千円 (420,858千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 神戸市立工業高等専門学校内に以下の主要3事業を展開するための拠点施設を整備する。（令和9年度供用開始予定） ①企業への技術支援 ・研究シーズと企業ニーズのマッチング、技術相談や共同研究等の窓口業務、リスキリング・講習会等の実施 等 ②交流機会の提供 ・学生向け企業説明会の実施、学生への企業情報提供、企業と連携した小中学生への理科教育 等 ③イノベーションの創出 ・企業との共同教育、スタートアップ支援 等						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 神戸高専地域共創テクノセンターの整備 ・施設整備等経費 294,713千円 ・設備整備・用地造成 14,951千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（起業者数を含む）（+230人） ②神戸高専卒業生の市内就職人数（第2新卒を含む）（+56人） ③地元企業との共同研究および技術相談件数（+11件） ④TECH共創会の会員企業数（+500社） ⑤企業参加行事の年間開催日数（190日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kobe-kosen.ac.jp/chiki-kokusai/kyousou-tc/

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	236,000千円 (206,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	神戸駅から三宮・元町地区及びハーバーランド地区の結節拠点で道路空間であるきらら広場を、憩いや利活用機能などを有した回遊拠点として再整備する。再整備にあたっては、緑陰とパーゴラの組み合わせによる日陰の創出やミストの設置、遮熱性舗装・木質系舗装を活用した環境舗装の整備など異常高温対策（ヒートアイランド対策）の機能を取り入れた先進的なクールスポットとして、誰もが気軽に憩いくつろげる空間を目指し、道路再配分による歩行者動線の改良及びコミュニティサイクルポートの再配置を行い回遊拠点としての機能向上を図る。新たな機能が加わった回遊拠点の整備により、周辺エリアへの人流増加が期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 きらら広場は神戸元町商店街の西側の玄関口にあたる道路空間で、神戸駅から三宮・元町地区及びハーバーランド地区の結節拠点である。神戸駅では現在、神戸駅前広場再整備が進められており、きらら広場は回遊拠点としての機能が期待されるが、平成5年に完成してから30年以上が経過しており、単なる通行動線としての最低限の機能を果たすにとどまっている。異常高温対策を取り入れ誰もが気軽に憩い、くつろげる滞留空間とし、イベント広場としても活用できる広場とするため、再整備を行う。					整備後の広場イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 きらら広場を憩いや利活用機能などを有した魅力的な回遊拠点となるように再整備する。あわせて、都心部の異常高温対策を取り入れたクールスポットとしての新たな機能も付加する。 広場整備工事請負費 206,000千円						
主なKPI	①若年層人口（中央区の若年層（15～34歳）人口）・人（+2000人） ②阪神電鉄西元町駅の乗降者数・人/日（+1050人） ③神戸元町商店街の西側地区の通行人数・人/日（+450人） ④夏季におけるきらら広場利用者数（7～9月）・人/日（+400人） ⑤きらら広場におけるイベントの実施回数・回/年（+8回） ⑥コペリンの利用者数・人/月（+125）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/s-hise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2030visioinsuishin.html

事業概要：森林資源の循環的利用を目指したKOBEBE備長炭事業

継続

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	197,560千円 (138,560千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	森林整備で得られる木材から備長炭を製造するための炭窯を新設し、高品質な「KOBE備長炭」としてのブランド化と、地元飲食店などに販売することで事業化を目指す。 市内になかった備長炭の製炭という新産業の創出につながることに加え、持続的な森林整備やエネルギー資源の「地産地消」につながることから、生物多様性の保全やCO2排出削減といった環境貢献にも繋がる事業となる。 イベントや施設見学などを通じて、KOBE備長炭の認知度向上を図ると共に、森林資源の循環利用の意義を市民へ普及啓発する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内に高品質の備長炭を製炭できる炭窯を整備し、放置林や公園などの森林整備で得られたカシ類などの木材から「KOBE備長炭」を製炭し、地元飲食店などに販売する。炭窯整備前はOEM製造のKOBE備長炭を用いて、認知度向上を目的にイベントなどプロモーション活動を行う。炭窯整備後は施設見学の受け入れなどを通じて、KOBE備長炭のPRや市民向け環境教育を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・KOBE備長炭のプロモーション事業（役務費、消耗品、委託料）4,000千円 ・製炭推進事業（負担金）26,400千円 ・環境学習事業（委託料）1,000千円 ・重機等備品の整備（需用費）32,700千円 ○拠点整備事業 ・炭窯・建屋建築工事 74,460千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①炭の売上額（+1,800万円） ②炭の利用店舗数（のべ数）（+200件） ③製炭量（+12t） ④イベント等の参加人数（+600人） ⑤企業・個人からの寄付金額（3,000万円） ⑥森林等の整備面積（+9.28ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a36279/kurashi/recycle/biodiversity/binchoutanjigyou.html

事業概要：六甲アイランド地区拠点公園整備事業

継続

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	271,500千円 (4,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	六甲アイランド公園と六甲アイランドを周回するランニングコースを有するシティヒル緑地、隣接するマリンパークの施設を一体的に再整備することで、六甲アイランドの更なる街の魅力向上やにぎわい創出を目指したまちの将来像の実現に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・休憩施設の改修を行うことで、安全で魅力ある公園整備 ・雨天時や酷暑時の避難に使用できる休憩施設の改修や、健康遊具の再編により、利用者が安全・快適に健康づくりに取組める公園整備 ・地域のニーズに応じたバスケットコートの整備 ・都市公園と港湾緑地との一体的な施設整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・公園管理への新たな関わりづくりプラットフォーム構築 2,500千円 ・公園の有効活用を目的としたイベント 1,000千円 ・市産材を活用した資材庫の設置 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域人口の減少緩和 (+70人) ②公園利用者数【年間】 (+10,000人) ③行為許可数 (+4件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/document/s/40901/0202kikaku_houkoku_2025.pdf

事業概要：神戸を起点とする瀬戸内クルージングネットワーク・プロジェクト

継続

申請者	兵庫県神戸市						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	678,880千円 (631,580千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	再開発が進む神戸のウォーターフロントにおいて、官民連携によりスーパーヨットを中心とする国際的なマリーナ空間を創出。国の観光・インバウンド戦略の重要な柱である高付加価値旅行者の誘致を強力に促進し、神戸を起点とする広域の観光振興に貢献する。民間事業者がマリーナを、神戸市が拠点施設及びインフラ整備を担い、高質な水辺の緑地空間を創出する。この空間を活用し、都市再生推進法人や神戸・せとうちDMO等と連携したエリアプロモーションなどを実施。地域経済の活性化、地方創生を図る。さらには、高付加価値旅行者誘客のモデル観光地（観光庁指定）である“せとうちエリア”へも経済波及効果を生み出す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高付加価値旅行者や来街者などへのエリアプロモーション実施に向け、周辺公共空間に観光拠点施設や緑地を整備。高質な基盤空間を創出する。						マリーナイメージ 令和9年開業予定  緑地空間イメージ  ©畑友洋建築設計事務所	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 都市再生推進法人やエリアの民間企業と協業したエリアプロモーションや集客イベントを実施する。 ・ エリアプロモーション費 10,000千円 ・ 集客イベント費 10,000千円 ○拠点整備事業経費 訪れる観光客の快適性と満足度を高める、デザイン性の高いレストスポットを整備し、AIを活用した観光案内機能やトイレを配置する。 ・ 施設建築工事費 171,430千円 ・ 観光案内機能整備費 20,000千円 ○インフラ整備事業経費 質の高い滞在空間となり、エリアの回遊性を高める緑地を整備する。 ・ 緑地工事費 420,150千円							
主なKPI	①観光入込客数（神戸港）（+200千人） ②観光消費額（+37.5億円） ③大型艇の寄港数（+13隻） ④イベント参加人数（+2,600人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a02564/kobewfkoufukin.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,500千円 (47,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・グローバル志向を持ち、課題解決能力に長けたイノベーションに取り組む人材を神戸独自に育成・輩出する仕組みの構築 ・AIを活用したスタートアップの創出や市内企業の新規事業創出を促進し、大きな市場を取る可能性のあるAIを活用したイノベーションの創出 ・ビジネスを通じた社会課題・地域課題解決を目指すインパクトスタートアップ・ローカルゼブラの育成・輩出。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 未来を担う人材育成を起点に、次世代産業の創出と社会課題解決の両面でイノベーションを生み出すため、教育課程から起業までを一気通貫で支援し、グローバル志向を持ち、課題解決能力に長けた人材を育成するとともに、そうした人材に対し、AI技術を活用した新規事業創出や社会課題解決を目指すビジネスの創出・拡大に向けた伴走型支援を実施する。					 各プログラムデモデイ（イメージ）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・課題解決人材・グローバル人材育成プログラム（委託料） 20,000千円 ・AIスタートアップ創出・成長支援プログラム（委託料） 20,000千円 ・地域ソーシャルインパクト創出支援事業（委託料） 7,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①労働生産性（市内就業者1人あたり市内総生産）（+3%） ②課題解決能力を育成するプログラム受講者数（+270人） ③AIスタートアップ等の育成数（+5者） ④インパクトスタートアップ・ローカルゼブラ企業の育成数（+5者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：新長田エリアの活性化

新規

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,332,000千円 (69,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	新長田エリアの玄関口である駅前広場の再整備やにぎわいの創出、新長田エリアの空き家・空き地の活用、さらにはエリアの魅力発信等を一体的に行うことで、都市ブランドの向上を図りながら、若者定住・交流人口を増加させ、商業価値の高いエリアとし、将来にわたり持続可能なまちの形成、新長田エリアの強い経済の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 駅前広場の再整備では、見違えるような緑あふれる憩いの空間に設え、地域産業を発信できるスペースを設けることで、「まちの顔」としての魅力向上、滞留空間の創出、にぎわいの創出を図る。また、再整備に向けた機運醸成、広場の利活用の促進を行うことで、再整備の効果をより発現させるとともに、地元事業者等の販路開拓につなげる。併せて、地元事業者の取組みや新長田エリアの魅力発信を積極的に行うことで、経済活動の活性化や空き家活用を後押しし、新たな交流を創出する。					駅前広場再整備イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 新長田駅前広場再整備の設計60,000千円 ○ソフト事業 駅前での出張販売・イベントに参加する地域プレイヤーの掘り起こし、出張販売、イベント実施にかかる支援5,000千円 地元事業者の取組みや新長田の魅力を発信する広報活動4,000千円					 魅力発信イメージ 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若年層人口（長田区の若年層（15～34歳）人口）（+20人） 上記事業により人口減少傾向を鈍化させるところから始め、最終的には現時点から人口を増加させる。 ②空き地・空き家の活用件数（+25件） ③新長田駅周辺の滞在者数（+800人/日） ④新長田駅周辺の公示地価（+26千円/m2） ⑤商店街エリアのにぎわい（+2,210人/日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/s-hise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2030visioinsuishin.html

事業概要：三宮駅周辺エリア整備事業

新規

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,392,000千円 (35,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・三宮駅周辺からウォーターフロントへとつながるエリアにおいて、回遊や滞在の拠点として、魅力的な滞留空間・にぎわい空間を整備する。 ・駅前の魅力や「えき」と「まち」のつながりが強化されることで、人・モノ・コトの新たな集積と需要が生まれ、雇用拡大や市内外からの来街者増加による消費活動の増加へとつなげ、神戸の地場産業も含めた地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 三宮駅前に、情報発信機能と回遊を促すコミュニケーション機能を伴った、飲食等店舗機能（KIOSK）を設置する。また、三宮駅周辺とウォーターフロントの結節点のエリアにおいて再整備が進む市役所本庁舎2号館に、まちへの回遊への起点・情報発信の場、市民・企業活動など様々な活用方法に対応できるにぎわい空間を整備するとともに、周辺エリアにおける歩行者空間を高質化する。これらにより、都心における回遊性や滞在性の向上を図るとともに、また、神戸の地場産品なども連携したにぎわいづくりや情報発信を行うことで、来街者の増加や地域消費の拡大につなげ、観光消費増や雇用創出による付加価値を向上させ、地域経済を活性化していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・三宮駅西線（広場部）のリニューアル 35,000千円						
主なKPI	①三宮エリアにおける従業者数の増（+3,900人） ②三宮エリアにおける各鉄道駅の乗降者数の増（+13,000人/日） ③三宮エリアにおける滞在人口の増加率（+15%） ④三宮エリアにおける観光消費の増加に伴う付加価値の増（+56億円）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/s-hise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2030visioinsuishin.html

事業概要：道の駅を中心とした神戸市北区淡河町における拠点づくり事業

新規

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	957,334千円 (87,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅の機能強化を図り、周辺飲食・観光・文化資源を含めた周遊型観光による地域消費額の増加を目指す。 ・親水空間の整備やAR技術を活用した歴史コンテンツの造成により、子育て世帯を含めた関係人口の増加や移住促進につなげる。 ・道の駅を地域イベントや学校園の自然学習の拠点として機能させ、地域ならではの魅力発信力を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国道428号線および県道38号線の交差点に位置する道の駅淡河の駐車場を拡張し、周辺施設への回遊や地域イベント時の拠点として機能させる。また、道の駅に隣接する準用河川浦川において、地域木材等を活用した多自然川づくり・親水空間の整備を行う。さらに道の駅淡河から地域の歴史資源である淡河城址への動線を強化するとともにAR技術を活用し魅力向上を図る。以上の面的な整備により、農林水産業および観光業の支援に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・親水空間詳細設計および多自然川づくり概略設計 32,000千円 ・道の駅淡河駐車場拡張詳細設計費 40,000千円 ・建物撤去費 15,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+1.1億円） ②周辺施設への来客者数増加率（+1.5倍） ③道の駅来場者数（+8万人） ④イベント・自然学習・山城見学会開催回数（+8回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kobe.lg.jp/a99375/kanako/leisure/michinoeki/michinoeki-ogo.html

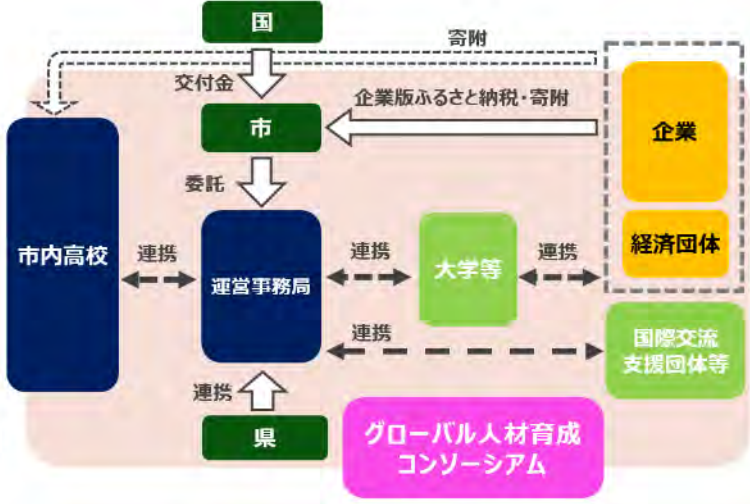
事業概要：「SDGs×グリーン」グローバル人材育成事業

旧制度（推進）

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	124,531千円 (24,786千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	ライフスタイル・ビジネススタイルの変革を促す「グリーン」の観点を取り入れたグローバル人材を育成する SDGsマインドを持つ若者が、姫路地域で活躍しつつ、海外と本国をつなぐ「架け橋」となっている姿を目指す SDGsに関して市民、学校、企業が連携を図りながらSDGsに関心を持つ事業の展開を図る 宣言制度やセミナー、イベント開催などで、SDGsに取り組む企業の見える化を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 SDGs・グリーン化の観点を取り入れた事業の展開により、市民、学校、企業、民間団体等が連携し市内全体でSDGsに取り組む機運を醸成する。それによって、若者が、本市を知り、本市に住み続けたいと考えるようになり、地域で活躍する国際人材（＝グローバル人材）の育成を促進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 若者をターゲットにグリーン化を取り入れたSDGsに関する普及啓発をするため、企業・学校等が実施するSDGsイベントと連携しPRを行う。 SDGs啓発にかかるPR及び各種イベントへの出展（委託料等） 1,300千円 「グリーン」をテーマに若い世代が活躍するイベント・意見交換会の実施し、グローバル人材の育成を図る。 若者ネットワークの構築（委託料等）7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①15歳から29歳までの転入超過数（+500人） ②従業員数（+0人） ③姫路市SDGs宣言参加事業所数（+220社）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html

ひめじ創生SDGsアワードにおける取組発表の様子

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,786千円 (54,744千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域に対する誇りや愛着の高い住民が、姫路市の魅力等を拡散し、その拡散によって新たな担い手生まれるというサイクルを創出する ・住民が自発的に地域の魅力を発信することにより、特に若い世代に対して本市の魅力を伝え、転出を抑制する ・市外在住者に対し、姫路市に住むメリット等についてPRすることで、転入を促進する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 まちづくりの担い手をSNS等で紹介する事業と、地域の魅力を発信する人材育成事業を組み合わせ、姫路市のライフスタイルについて、住民が自ら発信したくなる仕掛けを施す。また、市内外でブランドメッセージ等を浸透させるため、SNS等のデジタル媒体を活用して、強力なPRを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 地域推奨意欲向上事業 ・まちづくりの担い手見える化及びつながる事業経費（委託料）11,500千円 ・地域の魅力発信人材育成事業等（委託料）6,000千円 移住に関する情報提供環境の整備 ・移住相談ワンストップ窓口（オンライン移住相談含む）の運営経費（委託料）4,100千円 ・移住支援等の内容を掲載したチラシの印刷などPR経費及び調査経費等（需用費、委託料、使用料及び賃借料）1,588千円 デジタルを活用したプロモーションの実施 ・移住支援情報に関する広告掲出経費等（委託料、役務費）31,056千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①姫路市へのU I J ターン数（+400人） ②移住相談数（+450人） ③姫路市移住定住促進サイト「いいね姫路」の閲覧数（+25,000回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,401千円 (75,016千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若者の市内移住・定住を促進するとともにグローバルな視点を備えた国際人材を地域で育成・確保し、地域の「稼ぐ力」の向上を図る。 ・外国人留学生が日本での教育を通して高度外国人材に成長し、地域に定着して、ともに地域づくりに取り組んでいくことで、地域における多文化共生社会の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者が地元に着定し、地域社会を支える担い手となるよう、留学生を含む高校生をメインターゲットに、国際的な視点やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材を育成する。また、国籍や民族等の異なる人々が地域づくりに参画する多文化共生の社会を目指す。さらに、地域との交流や地元企業でのインターンシップなどを通して、地域での就業・定住を促進する取組を、官民協働のもとで一体的に推進し、地域創生の持続可能な好循環を生み出す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・グローバル人材を育成するコンソーシアム運営に要する経費（委託料、役務費）6,200千円 ・国際理解講座、留学生との交流会、留学経験者講演会、海外学校とのWEB交流イベントの開催（委託料）4,700千円 ・合同企業説明会の開催、日本語能力向上支援等（委託料）15,500千円 ・海外学生と市内企業とのマッチング機会の創出、高等教育機関への短期留学生受入促進（委託料）22,128千円 ・海外企業誘致に向けた海外セールス等（委託料、旅費、役務費等）10,000千円 ・地域行事や国際交流イベントへの参加、地域の特産品への理解の増進等（委託料）3,600千円						
主なKPI	①姫路市へのUIJターン数（+100人） ②コンソーシアム参画団体数（+12団体） ③市内日本人中高生と外国人留学生との交流会・研修会の開催回数（+6回） ④外国人留学生のうち高校卒業後に兵庫県内で進学・就職した人数（+3人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	724,958千円 (295,728千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大阪・関西万博等を契機としたインバウンドの推進及び広域観光の推進により、本市の多様な魅力を国内外に向けて発信するとともに、観光関連事業者のインバウンド対応を促進することで、継続的なインバウンド観光客数及び観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」の中で、観光・スポーツ分野では、目標を「にぎわいと感動の創出」として、観光交流都市・姫路にふさわしい「おもてなし」による交流人口の拡大と、観光産業の振興を通じたまちの賑わいと活力の創出を目指している。その目指す姿を実現するための取組の方向性として、①生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実、②姫路の歴史的・文化的な魅力を伝えるシティプロモーションの展開、③観光客に寄り添った受入環境の整備、④地域一体となった戦略的・継続的な観光地づくりなどに取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 受入体制整備等事業 ・インバウンド受入体制整備等 （補助金、委託料、需用費、工事請負費）6,400千円 ツアー造成、販売促進事業 ・着地型旅行商品の造成等（委託料、補助金）24,223千円 プロモーション事業 ・プロモーション事業経費等 （委託料、補助金、負担金、報償費）18,000千円 観光推進イベント ・事業運営等経費等（委託料、報償費、役務費、使用料、旅費、需用費、補助金、負担金）247,105千円						
主なKPI	①市内総入込客数（+940,000人） ②市内観光消費額（+17,250百万円） ③市内宿泊者数（+68,000人） ④外国人観光客の姫路城入城者数(+45,000人） ⑤Visit Himejiホームページビュー（+26,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：スポーツを軸とした若者が集まる「楽しい姫路」の実現

継続

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	216,220千円 (100,826千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「大和工業アリーナ姫路（姫路市立ひめじスーパーアリーナ）」の供用開始の好機を捉え、戦略的な誘致活動を行うことにより、若者を中心とした市内外の人々を惹きつける大規模イベントを実施する。 トップチーム、行政、経済団体、報道機関等、広範な主体が参画する「ひめじスポーツコミッション推進協議会」を設置することで、本市スポーツコミッションの体制を強化し、スポーツを楽しむ機会、姫路が誇るスポーツ資源を活かしたまちの賑わいづくりを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「大和工業アリーナ姫路（姫路市立ひめじスーパーアリーナ）」の供用開始の好機を捉え、戦略的な誘致活動を行うことにより、若者を中心とした市内外の人々を惹きつける大規模イベントを実施する。また、令和7年度に設置した「ひめじトップチーム懇話会」を拡充し、トップチーム、行政、経済団体、報道機関等広範な主体が参画する「ひめじスポーツコミッション推進協議会」を設置し、専門性と推進力を備えた官民連携の体制へと発展させる。					 手柄山 平和公園駅 【ひめじスーパーアリーナ】外観イメージ (手柄山 平和公園 駅側から望む)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 スポーツコミッション事業の体制強化 ・スポーツコミッション推進協議会の運営（委託料） 573千円 ・実施主体のスポーツ事業拡充（委託料） 433千円 ・トップチーム支援、事業運営費等（委託料） 11,570千円 ひめじスーパーアリーナ完成記念事業 ・完成記念イベント（委託料等） 88,250千円						
主なKPI	①市内観光消費額（+17,250百万円） ②各種スポーツ行事への参加者数（+2,636人） ③市立体育施設の利用者数（+116,616人） ④市立体育施設における大規模イベントの開催件数（+9件） ⑤トップチームのホームゲーム観戦者数（+4,103人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	167,000千円 (39,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	国際的なコンペティションを開催することにより、市民のシビックプライドが醸成される 高いレベルの演奏に触れる機会を数多く創出することにより、市民の文化度が高まる 国内外から音楽関係者や愛好家のほか海外の富裕層が滞在することにより、大きな経済効果がもたらされる 海外から多くの演奏家が集うことを通じて、文化芸術や国際の分野で人材の育成が図られる 本市の国際的な認知度と都市としての価値が向上し、HIMEJIブランドが確立され、世界から選ばれるまちとなる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 次代を担う人材育成の観点から、本市の若者たちが文化芸術で将来の夢を描く契機とするとともに、世界に羽ばたく才能を発掘し育成していくことで、市民の文化度のさらなる向上やシビックプライドの醸成を図る。また、本市とヴァイオリンが有する深い縁を、未来へしっかり引き継いでいくため、次代を担うヴァイオリニストを輩出することを目的とした「国際ヴァイオリンコンペティション」を新たに開催する。加えて、市民参加型の「新たな文化芸術事業」の開催により、市民が様々な文化芸術に触れる機会を増加させることで、文化芸術の振興を図り、本市全体で文化芸術を盛り上げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ヴァイオリンコンペティションの開催に向けた準備事業 ・準備事業経費（負担金）24,000千円 新たな文化芸術事業の開催 ・新たな文化芸術事業開催経費（委託料、報償費、役務費、需用費、使用料及び賃借料）15,000千円						
主なKPI	①市内総入込客数（+94万人） ②ヴァイオリンコンペティションの参加申込者数（+200人） ③ヴァイオリンコンペティションの公式WEBサイト閲覧数（+950,000回） ④新たな文化芸術事業の参加者と入場者数（+72,800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html

事業概要：「ひめじ」オールキャリア活躍・地域雇用推進事業

新規

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,288千円 (36,156千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業が、多様な人材が働きやすい職場環境を整え、若者が地元の魅力ある企業と出会い、就職し、働きやすい職場環境の中で働くことで、働くことを希望する人が、本人の希望する条件でその能力を活かして、今以上に意欲的に働き続けられるまちになる。 ・働く人材が確保されることで、地場産業の振興、地域経済の維持及び拡大につながり、さらに働きやすい職場環境が充実し、若者や女性に選ばれるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○地場産業を支える若者と地域企業とのマッチング機会を創出し、地域企業への就職を促進するとともに、短時間ワークマッチング事業を行うことにより、既存の労働力だけでなく「眠っている人材」の掘り起こしを図り、若者・女性や高齢者、外国人など様々な人材が活躍できる環境を整える。また、地場産業の振興に大きな課題となるのが、介護や育児等による働きざかりの人材の離職であることから、福祉分野等の人材を確保することにより、離職のリスクを減らすとともに地域全体の人材確保につなげる。 「地域の人材確保」を実現し、地場産業を含む地域企業の高付加価値化等を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・学生と企業の出会いプロデュース事業（委託料）14,689千円 ・短時間ワークマッチング事業（負担金）12,980千円 ・福祉分野等の人手不足分野における女性人材発掘・育成プログラム（委託料）8,487千円						
主なKPI	①姫路市内の事業所の従業者数（±0人） ②本事業を通じた就業者及び就職内定件数（+1,500件） ③就業プラットフォームの登録事業所件数（+600件）					URL	https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000030790.html https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/000006344.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：かけ算「×」で創る地域の魅力と活力創出事業

新規

申請者	兵庫県明石市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	558,559千円 (253,177千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「海のまち明石」・「時のまち明石」を代表する地域資源（豊かな海、天文科学館等）や市域に広がる豊かな自然環境を最大限に活用し、地域の魅力向上とブランドの浸透を図ると共に、持続可能な産業振興を進めることで、地域経済の「稼ぐ力」を強化する。 ・産官学民の様々な主体のつながりを創出するとともに、多様な主体の共創による取組を支援することで、コミュニティの活性化、地域課題の解決、市内産業の発展を目指す。複数の事業を掛け合わせ、人や地域とのつながりの創出、地域資源・地場産業の高付加価値化を図ることで、市民のウェルビーイングと選ばれるまちを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 以下3事業を「かけ算」し、また、産官学民が連携して取り組むことで生まれる相乗効果を最大限活用することで、市が抱える課題（人や地域とのつながりの希薄化、まちの集客力の低下、生物多様性の損失）の解決を図る。 ①共創で生み出す地域の活力（産官学民のつながり創出と共創による取組支援） ②地域資源を活かしたまちの魅力向上（まちのブランディングと魅力発信） ③地域資源を活かした産業の振興（持続可能な産業振興の推進）						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①・あかし共創プラットフォームの運営 11,427千円 ・共創事業への助成（補助金）7,000千円 ②・観光振興基本構想の改定 3,866千円 ・ネイチャーポジティブの実現（委託料等）8,218千円 ・海のまち、時のまち、本のまちの推進（委託料等）145,066千円 ③・商業振興基本計画の改定・市内産業振興支援 18,850千円 ・豊かな自然を活かした持続可能な水産業・農業の振興（委託料等）58,750千円						
主なKPI	①明石市の総人口（+1,335人） ②あかし共創プラットフォームへの参画者数（+61者） ③天文科学館入館者数（+52,800人） ④マダコの漁獲量（+69t）					URL	URL
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.akashi.lg.jp/seisaku/seisaku_shitsu/akashitihousei.html

事業概要：誰も迷わない創業支援ワンストップ拠点の確立事業

継続

申請者	兵庫県西宮市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,600千円 (12,100千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	女性や若者、高齢者など幅広い層による起業を促進する環境を整備し、起業を志すところから開業・継続・発展に至るまで、新しいビジネスへの挑戦の各段階に応じた切れ目のないきめ細かな支援を図り、新たな産業の担い手の創出に繋げ、地域経済に活力と雇用をもたらす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 起業家支援センターを拠点とし、専門家によるワンストップ相談窓口の運営や、多様なニーズに応じたセミナー・交流会を実施する。特に令和8年度（2026年度）は、平日に働いている層のニーズに応えるため、コワーキングスペースの土日開館や専門家相談体制を強化し、伴走型支援を深化させる。また、ビジネスプランコンテストや合同記者発表会を通じて、起業家の露出機会創出とコミュニティ形成を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 各種創業セミナーの実施など、起業をワンストップで支援する拠点施設の整備 ・各種セミナー等開催経費（補助金）8,629千円 市内部の関連事業や商工会議所等の関係機関と連携し、起業家支援センターの利用促進、交流会、ビジネスアイデアコンテストや合同記者発表会・展示会を実施 ・交流会等開催経費（補助金）2,721千円 起業家支援センターの広報活動を実施 ・広報費（補助金）500千円 起業家支援センターの機能強化に関する備品購入 ・タブレット端末の整備（補助金）250千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①起業家数（+130人） ②コワーキングスペースの会員登録数（+30人） ③セミナー等の参加者数（+800人） ④3年後の事業継続割合（+70%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	にしのみや起業家支援センター「みやスタ」 https://www.nishi.or.jp/jigyoshajoho/sangyoshinko/shinkisogyo/miyasuta.html 【令和6年度～10年度】西宮版総合戦略について https://www.nishi.or.jp/shisei/chihou-sousei/zinkou_sogo/sougousenryaku3.html

事業概要：新交流センター交流促進事業

継続

申請者	兵庫県西宮市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,680千円 (1,486千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	行政だけではなく、市民、市民活動団体、地縁団体、大学・学生、民間企業、社会福祉法人等の多様な主体がまちづくり・地域課題の解決に参画し、連携しながら対応できる体制の構築を目指し、既存の施設を統合し新交流センター（仮称）を開設する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○ 地域団体の取り組み等の情報収集と発信 ア.多様な主体の活動目的・内容・ニーズの情報収集・発信 イ. マッチング・コーディネート業務を通じたノウハウの構築 ○ 多様な主体間のマッチング・コーディネート 【拠点整備事業概要】 ○多様な主体間の交流機会の確保と活動の場の提供 ・ 気軽に集まれる交流スペース、貸室の提供 ・ 協働事例・活動内容の発表・共有の場 ・ 情報交換のイベント実施						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新交流センター管理運営事業 ・各分野で専門的コーディネーターによる相談支援のための報償費：580千円 ・新たな活動の立上げ等を目的とした講座開催に係る報償費：33千円 ・活動の立上げに係る専門職による相談支援報償費：75千円 ・利用案内・開設イベント開催チラシ印刷製本費：426千円 ・運営委員会に出席する地域の多様な主体の関係者への報償費：372千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口減少の抑制（▲1,000人） ②地域活動に参画する人・団体（市民・学生ボランティア登録者数）（+200人） ③地域活動に参画する人・団体（高齢者見守り事業登録事業所数）（+50事業所） ④多様な主体が参画・協働する機会（マッチングにより地域課題に対する具体的な解決策や改善が見られた事例の数）（+18件） ⑤新交流センターにおける相談対応件数（+120件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	市民・大学共創プラザ https://www.nishi.or.jp/access/sonotashisetsu/kyousouplaza/index.html 【令和6年度～10年度】西宮版総合戦略について https://www.nishi.or.jp/shisei/chihouseusei/zinkou_sogo/sougousenryaku3.html （R7事業の効果検証はR8年度に掲載予定）

事業概要：まちのにぎわいと歴史を感じる交流拠点創出プロジェクト

継続

申請者	兵庫県伊丹市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	378,166千円 (5,000千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	伊丹市は、有岡城を中心とした歴史的な城下町として発展してきた地域である。江戸時代から続く酒造業の歴史が息づく町並みは、市民に親しまれている。本事業は、市の玄関口である JR 伊丹駅前に位置し、廃止が決定している演劇ホールを活用することで、地域の歴史と文化を感じられる交流拠点を整備し、「地域のつながり」を推進することで、人口減少の抑制を図るものである。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 駅前施設を、子育て世帯や地域のこども達をはじめとした地域住民等が憩える多用途な地域拠点施設として活用することで、地域交流の場を創出する。当該施設の活用により、地域のつながりを広げ、社会増減の影響に伴う人口減少を抑制する。民間活力による集客力を活かすとともに、10mの吹抜け空間を、地域資源である史跡を見ながらくつろげる心地よい空間として活用することで、上記記載の活用とあわせ、にぎわい拠点の場とする。 隣接する有岡城跡の史跡公園とコラボレーションさせ、多様なイベントを実施し、駅前の持続的な発展に資するとともに、幅広い世代に利用される事業運営とし、都市の魅力創出や地域活性化への効果を高める。					(拠点施設活用イメージ)		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 機械設備工事 5,000千円							
主なKPI	①社会動態の影響による人口減少数(+65人) ②施設利用者数(+39,000人) ③にぎわいや地域貢献に資するイベント開催回数(+5回) ④市民意識調査における住み続けたい理由として「地域のつながりがある」の選択割合(+10%)					URL		https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/SOGOSEISAKU/SISETU_MANA/aihall_katuyou/index.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：「スポーツによるまちづくり」拠点施設整備事業

新規

申請者	兵庫県伊丹市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,076,885千円 (16,885千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	拠点施設の整備により下記の取組を進めることで、まちの魅力を向上し、定住人口の増加を目指す。 ○ スポーツ大会・交流イベントの実施により交流人口を増やし、地域の消費を拡大させる ○ 健康・スポーツ教室の発展による労働生産性の向上に繋げる ○ 子どもから高齢者まで多様な世代がスポーツ活動を基盤とした地域コミュニティの形成を行う ○ 心身ともに健康で豊かな生活を送る人を増やす							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伊丹スポーツセンターに、子どもや高齢者、障がい者など多様な世代が集い、多様な主体が連携し活躍できる「スポーツによるまちづくり」の拠点施設となる全天候型（タータトラック、人工芝フィールド）の競技場を整備し、新たなスポーツ大会・交流イベントを実施することで交流人口の拡大を図る。 さらに、市民・市内企業や施設管理者と連携し、労働者に対する健康プログラムの提供などにより全市的に「生涯スポーツの推進」と「健康づくり事業」を進めることで、「健康・スポーツ産業の発展」や「雇用や労働」、「健康寿命の延伸」、「子育て・教育環境の充実」、「スポーツを基盤とした地域交流」といった施策を展開し、本市の魅力向上による定住人口の増加を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・伊丹スポーツセンター陸上競技場再整備設計委託 16,885千円							
主なKPI	①地域の人口（+250人） ②施設全体の利用者数（+25,000人） ③施設整備による経済効果（+60百万円） ④地場産業の労働生産性の向上（+22,600千円） ⑤スポーツ実施率の向上（+17.40%） ⑥新たなスポーツ大会・イベントの実施件数（+10件）						URL	「令和8年7月公開予定」 http://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/EDSPORTS/sportssuisinseaku/49014.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：ジェンダーギャップ解消と人材定着による若者還流推進事業

新規

申請者	兵庫県豊岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,555千円 (32,185千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ジェンダーギャップ解消、多文化共生、働き方改革を分野横断的に結びつけ、すべての人々が力を発揮できる地域経済をつくる。 ・企業の働き方改革を支援し、仕事と家庭の両立、生涯にわたるキャリア形成を後押しすることで、若者・女性を含む多様な人材の地域定着を促進する。 ・地場産業・観光関連を中心とする市内事業者において、女性・若者が継続就業できる職場環境とスキル形成を底上げし、人材定着を通じた生産性向上・付加価値向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育て中の女性を対象としたデジタルスキル習得・就労、結婚希望者の出会い・マッチング機会の創出イベント運営、子育て支援施策等の戦略的情報発信（漫画等コンテンツ制作・配信等）、市内事業者の働きやすさ／働きがい向上に向けたワークイノベーション支援（研修・推進会議、従業員意識調査、表彰、メンター相談等）、ジェンダー平等の理解促進と行動変容を促す取組、多様性理解を広げる講演会、地域日本語教育、交流機会創出等を一体で行う多文化共生支援、「但東さいさい」を核とした地域交流・居場所づくり、市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「シビックとよおか」の運用と現地イベント「地域×エール」の開催などを実施し、若者還流を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・若者・女性の豊岡への還流促進事業（3事業） 7,732千円 ・働く場の環境改善事業（4事業） 13,643千円 ・多文化共生の推進事業（2事業） 5,366千円 ・市民共創の強化事業（2事業） 5,444千円						
主なKPI	①若年転入転出比率（15～29歳）（+0.6%） ②男女格差解消が進んでいると感じる市民割合（+6.0%） ③「働きやすくて働きがいがある」事業所数（+3事業所） ④DXリスキリング講座修了者数（累計8人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1006985/index.html https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1006999/index.html

事業概要：豊岡ブランドの高付加価値化と地域経済循環最大化事業

新規

申請者	兵庫県豊岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	604,950千円 (201,650千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・鞆産業等の地場産業と城崎を中心とする観光市場を同一圏域で接続し、需要と供給を一体で高付加価値化する。 ・販路・人材・投資を呼び込む仕組みを重ねることで、若者・女性を含む多様な人材が「ここで働き、挑戦し続けられる」状態を実現する。 ・地域の「稼ぐ力」を示す移輸出額を297,082百万円へ拡大させ、雇用機会と所得水準の改善を通じて、若年転入転出比率80%につながる好循環を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「豊岡鞆」のブランド力向上・海外展開支援、鞆縫製者トレーニングセンター等による担い手育成、中小企業の成長投資・経営革新・販路開拓・デジタル化支援、城崎温泉の魅力向上と情報発信を行う。観光マーケティング調査・観光データ分析に基づく施策推進、一般社団法人豊岡観光イノベーション等と連携した観光地経営体制の強化、海外向けプロモーション・多言語対応等の受入環境整備、豊岡演劇祭の開催支援、道の駅「神鍋高原」を拠点とした特産品販売・情報発信・交流促進などを行う。また、豊岡農業スクール等による新規就農支援、IPPO TOYOOKAによる創業・事業承継・経営相談、官民共創の推進と空飛ぶクルマ社会実装などに取り組む。					 出典：経済産業省ウェブサイト イメージ：空飛ぶクルマ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地場産業振興・ブランド力向上事業（3事業） 66,562千円 ・観光高度化・インバウンド推進事業（6事業） 92,296千円 ・担い手確保・人材育成・新産業創出事業（3事業） 42,792千円						
主なKPI	①移輸出額（+8,757百万円） ②鞆製造品出荷額（+13.5億円） ③外国人延べ宿泊者数（+6,534人） ④観光消費額単価（インバウンド）（+3,000円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1006985/index.html https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1006999/index.html

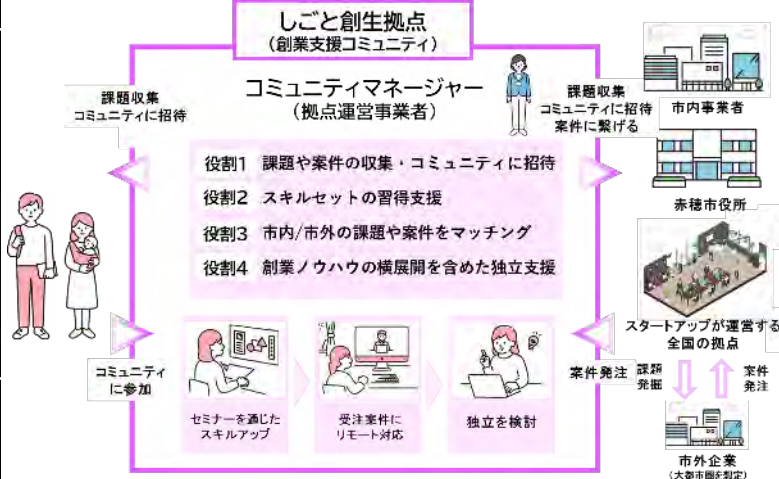
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：“感幸のまち”加古川における地域魅力発信と音楽を通じた新たな価値創出事業

新規

申請者	兵庫県加古川市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,741千円 (23,803千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・音楽を中心とした文化・芸術の取組、情報発信、加古川総合文化センターエリアのリニューアルに向けた機能の検討を一体的に推進し、市民の幸福感や地域への愛着を育むとともに、「感幸のまち・加古川」としての都市イメージの確立を図る。 ・日常的な文化体験の積み重ねにより、来訪者の滞在時間延伸や交流人口・関係人口の拡大を促し、消費行動を通じた地域経済への波及と持続的にぎわい創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 加古川市まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」を活用した情報発信により、市の認知度向上を図るとともに、観光パンフレットの作成を通じて、市内の観光資源や文化的取組を分かりやすく発信する。あわせて、音楽お届け便やワークショップ等を実施し、市民が日常的に音楽に触れられる機会を創出する。さらに、将来的な総合文化センターのリニューアルを見据え、文化・交流拠点としての機能強化に向けた検討を行い、基本計画の策定支援を行う。					 (音楽のまちづくり)  (加古川市総合文化センター)  (加古川市まちの魅力発信キャラクターかこのちゃん)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・加古川市まちの魅力発信キャラクター「かこのちゃん」を活用した情報発信及び観光パンフレット作成（委託料、補助金等）23,803千円 ・音楽のまちづくり事業の実施（委託料）4,789千円（一般財源にて実施） ・加古川総合文化センターエリアリニューアルに向けた基本計画策定支援（委託料）10,727千円（一般財源にて実施）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+200人） ②観光入込客数（+285千人） ③加古川市に誇りや愛着を感じている市民の割合（+3%） ④公式SNSの登録者数（+9,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakubu/kikakubukohoka/sousei/matihitosigotosouseisenryakukaigi/index.html

申請者	兵庫県赤穂市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,648千円 (10,780千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「しごと創生拠点」を核として、以下の要素を掛け合わせるによりイノベーションを起こし、地域に幅広い『仕事の選択肢』を生み出す。本事業を通じ、本市を、市内外の若者・女性から積極的に選ばれる「希望する仕事にチャレンジできるまち」に変革し、社会減の改善を実現する ・『地域の潜在労働力』×「都市部のデジタル産業のノウハウ」⇒ デジタル分野の仕事の創出 ・『地域の潜在的創業者』×『都市部の創業支援のノウハウ』⇒ 多様な業種での創業を通じた新規雇用の創出						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「しごと創生拠点」を設け、以下の2事業を実施する ・「しごと創生拠点」による「しごとづくりエコシステム」の形成支援 地域に新しい挑戦を呼び込むことを目指し、創業希望者・先輩創業者・金融機関をはじめとした支援者等が相互に連携し合いながら創業者を輩出することで、事業を成長させる「しごとづくりエコシステム」を形成 ・若者・女性をメインターゲットとした一気通貫の「キャリア支援」 AI・デジタル分野におけるリスキリングの機会を提供し、これらのスキルを活用したデジタル関連の仕事に実際に従事できるレベルのスキル習得を支援						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「しごと創生拠点」を核とした しごとづくりエコシステムの形成支援 (委託料) 6,864千円 ・若者・女性を対象とした一気通貫の「キャリア支援」(委託料) 3,916千円						
主なKPI	①赤穂市の社会減（転入者－転出者）（+81人） ②「しごと創生拠点」の登録者数（+150人） ③「しごと創生拠点」が支援したことにより創業した者の数（+25人） ④デジタル分野の仕事に従事した者の数（+20人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ako.lg.jp/koushitsu/kikaku/sogosenryaku.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	兵庫県宝塚市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,784千円 (7,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	包括連携協定を締結している企業や大学をはじめとする多様な主体とともに、子どもへの体験の機会の創出、地域課題の解決などについて取り組み、持続可能なまちづくりを目指す。 また、市の取組、地域の魅力を市内外に伝え、市民関係者の信頼や共感を得て、参画と協働に基づく市政運営を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 包括連携協定先が一堂に会する「宝塚大会議」をはじめ、包括連携協定を締結している企業、大学とともに、市の課題や方策について話し合い、アドバイザーの助言を受けながら、子どもへの体験の機会創出、地域課題の解決に取り組む。 多様な主体によるまちづくりへの参画の促進、生み出した市の魅力など、若者やファミリー世代の住みたいまちとしての広報を戦略的に行い、市の魅力を市内外へ発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○包括連携推進事業 ・包括連携推進事業 2,000千円 ・アドバイザー報酬 1,984千円 ○広報支援業務事業 ・広報支援業務事業 3,520千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①包括連携協定を締結している企業・大学との連携取組実績の総数（+6取組） ②包括連携協定法人数（+3者） ③20代の転出超過人数（-300人） ④30代の転入超過人数（+75人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1060687/1060722/1043531/index.html

事業概要：未来につづくまち創出プロジェクト

～観光創造と実践的な学びで「私たちのまち宝塚」の実現へ～事業

新規

申請者	兵庫県宝塚市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,172千円 (7,170千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市が所有する手塚治虫記念館のエリアを中心として、手塚治虫生誕100年を契機として商工会議所や観光協会等様々なステークホルダーを巻き込んだ機運醸成により、本市の観光資源・産業の付加価値向上を目指す。 ・MICEの誘致を実現することで、インバウンド誘客等新たな関係人口を創出することで、エリアの経済循環を向上させ、地域経済の維持拡大に寄与する。 ・北部地域の公立学校園にグローバルな人材育成プログラムを導入することで、子育て世帯の移住促進や地域の担い手増加の起爆剤とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①手塚治虫生誕100年記念事業 本市は市立手塚治虫記念館を有しており、手塚治虫生誕100年を絶好の契機と捉えて、来館者数の増加を目指すべきであると考えますが、それだけにとどまらず、宝塚市全体の周遊性を高め、観光地としての滞在価値を向上させる。このことで、観光入込客数を増加させ、観光消費を地域の経済へ好循環させる仕組みづくりを行い、観光消費額を拡大させる。 ②MICE誘致補助金事業 MICEの実施に係る補助金を整備、MICE誘致を成功させることで、開催時点の経済効果に加え、国内客のみならず、インバウンド誘客の契機となることを目指す。近隣市はMICE誘致補助金を実施しておらず、本市は50名以上宿泊できる施設が3件あることから、近隣市との差別化を図ることで経済効果が見込まれる。 ③探究型学習推進事業 北部地域（西谷地域）の学校園において、グローバルな人材育成を目指す探究型で国際標準的な教育プログラム「国際バカロレア教育（IB）」の導入に向けて、先進事例の視察や研究を行う。過疎化が進む中で、里山資源と地域住民との深い関りを活かしながら、特色ある学びの場を創出することで、移住のほか、関係人口の増加につながることが期待される。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・手塚治虫生誕100年記念事業構想策定業務委託（委託料）2,000千円 ・手塚治虫記念事業にかかる著作権使用料800千円、旅費100千円、消耗品100千円 ・MICE開催支援補助金:3,000千円 ・探究型学習支援に係る研修費・旅費・備品購入費 1,170千円						
主なKPI	①年間観光入込客数（+25,000人） ②手塚治虫記念館の1年間の来場者数（+6,500人） ③補助対象MICE開催に伴う推計消費額（+13,344千円） ④西谷地域の園児児童生徒数（+4人）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1060683/1060708/1051315/1063340.html https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1060683/1060708/1063370/1063371.html

事業概要：地域資源を活かした、Z世代が活躍できるワークプレイスの創出

継続

申請者	兵庫県三木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,870千円 (11,190千円)
事業類型	ソフト事業	✓	事業分野		インフラ整備事業		
目的・効果	三木市の歴史や自然を生かしながら、新たな時代を切り開く仕事を創り、安心して働くことができる「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。多様な価値観を持つ若者から選ばれるまちとなるような事業を行うことで、中小企業や地域産業の人材確保、新たな雇用の増加につながり、三木市で暮らすことの魅力の向上、人口流出を防ぐという好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 働きやすい職場環境の整備や、人材確保の支援、新規就農者の支援を実施し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中小企業職場環境改善支援補助事業 ・生産性向上や魅力のある働きやすい職場環境へ改善するのに要する経費の一部を補助 5,000千円 ○中小企業若手人材確保支援事業（補助金） ・働き手不足の解消、市内の雇用先を若者等に幅広くPRするため、就職情報サイトへ求人掲載した事業者へ補助 500千円 ○新規就農者等確保育成支援事業 ・三木市で就農が可能であることを認識してもらうために、新規就農者の市内体験ツアーの実施や、営農組合組織での農業体験を実施 90千円 ○新規就農者就農環境支援事業 ・新規就農者として自走できるように販路の拡大等の支援や、農業の担い手同士をつなぎ農村地域の活性化を目的とする人材を確保 5,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者世代(20・30歳代)の社会増減率 (+0.92%) ②事業継承計画の策定件数 (+2件) ③認定農業者経営体数 (+12経営体)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miki.lg.jp/sosiki/6/85156.htm

事業概要：大阪・関西万博を契機とした、金物インバウンド戦略

継続

申請者	兵庫県三木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	31,093千円 (9,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	事業分野		インフラ整備事業		
目的・効果	三木市と何らかの関わりを持つ関係人口を増やし三木ファンを増やすことによって、地域の活性化を促し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 三木市の地域資源である金物を活かし、大阪・関西万博に合わせて、様々なイベントへの出展等によるPRにより、三木市が持つ金物ブランド力を磨き上げるとともに、インバウンドによる関係人口の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪・関西万博等で三木金物ブランドのPRや、インバウンド獲得に向けた事業を実施し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 三木市には、伝統の技が光る「三木金物」、質・量ともに日本一の酒米「山田錦」、西日本一のゴルフ場数を誇る「ゴルフ」など、多様な地域資源がある。 このうち、「三木金物」の国内外への周知PRを通じて、販路開拓のみならず、三木市の知名度の向上や魅力の発信を行うとともに、インバウンド受入体制を強化し、関係人口の増加につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○三木金物ブランド戦略事業 ・三木金物ブランドの魅力をPRするために、国内・国外で実施される見本市へ参加するための費用 8,000千円 ○道の駅よかわインバウンド受入整備事業 Wifi、電子マネー等の受入体制強化、ホームページでの観光情報発信や、地場産業体験イベント等を実施 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①金物製品輸出額（+9.6億円） ②個人旅行を含む三木市での外国人宿泊人数（+2,800人） ③インバウンドへの参画事業者数（+6社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/6/85156.html

申請者	兵庫県川西市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,582千円 (11,840千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	新たなしごとを創出する起業家や事業者による事業展開を促し、地域課題の解決や活性化に向けた取組を行い、市民が自分らしいスタイルで働き、暮らし続けたいと思うまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 起業・就労・就農の支援を通じて、多様な働き方の実現や人材確保、新規就農を促進し、地域産業の活性化と耕作放棄地の防止を図ることで、「稼げる住宅都市」としての新たな魅力を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 起業支援 ・起業支援セミナー、出店補助等 7,154千円 ・社会起業家への支援(ガバメントクラウドファンディング型) 1,885千円 就労支援 ・若者を対象とし地元企業の職場体験等 443千円 ・女性向け就労支援セミナー等 616千円 ・障がい者の継続雇用に向けた支援(補助金) 900千円 商工振興支援 ・事業者団体が実施する集客イベントの支援(補助金) 200千円 就農支援 ・体験農業、直売支援等 242千円 ・農福連携に関する農業者団体支援(補助金) 400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内総生産額（+13,603百万円） ②起業セミナー受講者の起業家数（+10人） ③自分の仕事に充実感がある市民の割合（+0.5%） ④農業産出額（+0千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/

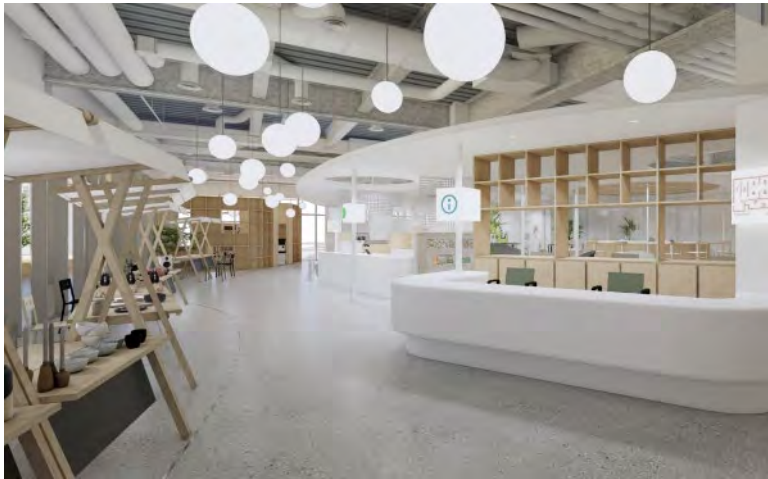
事業概要：三田市起業・創業支援事業

継続

申請者	兵庫県三田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,918千円 (4,862千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	起業・創業を支援することにより、地域での創業件数を増加させ、魅力的な雇用の場を地域において創出する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・起業・創業支援（機運醸成事業） 起業・創業の機運醸成を図るため、高校生、学生、社会人、女性等を対象に起業家教育やお試し出店等のプログラムを実施する。 ・起業・創業支援（特定創業支援等事業） 創業希望者等に創業に必要な知識を身につけるための「実践創業塾」や、創業塾受講後のフォローアップ個別相談等の「特定創業支援等事業」を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○起業・創業の機運醸成を図るためのプログラムを実施 ・高校生向け起業家教育（講師謝礼、広報啓発費）311千円 ・起業家育成プログラム（委託料等）1,300千円 ・お試し出店（委託料、広報啓発費）495千円 ・起業・創業者コミュニティ運営事業：（委託料）600千円 ○創業に向けての実践的なプログラムを実施 ・実践創業塾（補助金）459千円 ・創業希望者等への個別支援：（委託料）1,697千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①支援を行った者のうち創業した件数（+43件） ②特定創業支援等事業の参加者数（+180人） ③機運醸成事業の参加者数（+230人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/18/gyomu/sangyo_shinko/kigyo_sogyo/index.html

事業概要：三田駅前Cブロック地区公益的施設整備事業

新規

申請者	兵庫県三田市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	428,868千円 (326,137千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本施設では、個人のまなびの深化につながるプログラムだけでなく、様々な業種・年代のマッチングを行うことで新たな事業の芽を生み出し、地域に根付いた新事業の立ち上げや、新しい働き方の創出につなげる。市内には起業創業や市民活動などの分野での専門性の高い施設や高等教育機関が整備されており、その社会資源や多くの人が行き交う駅前という立地は本施設の強みである。本施設の運営により、利用者の様々な分野への興味関心を引き出し、施設間連携のもとで面的な活動量の増加へとつなげ、新規起業による所得の向上、新規事業資金の誘発、新規起業による店舗物件の賃貸料の増加等の経済効果を狙う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 三田駅前Cブロック地区内に建設される商業棟にオープンスペース、カフェ、会議室等の機能をもった公益的施設を新設し、コミュニティマネージャーを中心に利用者同士のマッチングを行うことで交流や共創の促進を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・開館事前準備業務（委託料）3,972千円 ・会議室用大型モニタの設置（備品費）340千円 ○拠点整備事業 ・施設内装工事 321,825千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①三田地区・三輪地区生産年齢人口（+1,014人） ②未来を担う若者指数（+5%） ③三田駅前地区の事業所数（+237事業所） ④民間事業者等との連携数（+150件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gyosei_hyoka/index.html

事業概要：西紀南地区地域コミュニティ活性化施設整備改修事業

新規

申請者	兵庫県丹波篠山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	67,033千円 （67,033千円）
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市民活動や農業ボランティアの活動拠点を整備することで、多様な人材の交流や連携を図り、各種団体間の相乗効果を生み出し、地場産業である黒大豆など、丹波篠山の農業に関わりたいと思う「みんなが意欲と目標を持って取り組める農業」の仕組み作りを行う。 また、多様な人材の参画による多様なアイデアにより、大都市圏での販路拡大や販売機会の確保、スマート農業の技術の導入や加工品の開発などで所得の安定、農業の継続を行い、景観の維持・保全を図ることにより地域住民の暮らしと安全を守ることにより寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大正時代に建てられた、かつて郵便局としても使われた古民家を再生し、農産物の加工（調理）室や直売スペース・子育て空間等を整備しSNSを通じた販路の開拓や、地域内外の関係人口の創出を図り、地域内の農業後継者や地域外の新規就農者の確保を図ることにより、未来につなぐ丹波篠山市の農業に寄与する。また、世代を超えた関わりを生み出し、地域の共助を再構築することを目的とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 改修工事 ・建築物本体工事 64,663千円 ・備品整備費 調理（加工）室備品他 2,370千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の世帯数（＋5世帯） ②地域のU I Jターン数（＋100人） ③調理（加工）室の利用回数＋110件） ④交流企画事業の参加者数（＋3,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公表予定

事業概要：地域の未来をつなぐ若者応援事業

旧制度（推進）

申請者	兵庫県養父市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	2,063千円 （760千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「次世代につなぐ」「持続可能な養父市づくり」のできる人材を確保することに重点を置く。 ・養父市を誇りの思う郷土愛の醸成・若者の流出による担い手不足の解消を図る。 ・地域とのかかわりが薄い若者とつながり、安心感を与え、Uターン促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 キャリアトーク事業：市内各事業者の従業員等による「仕事・暮らし」を紹介し、高校生が今後の進路や就職等の職業観を考える機会を創出する。 コミュニケーションワークショップ事業：芸術文化観光専門職大学の講師等を招聘し、高校生に向けコミュニケーションスキルの大切さを知るワークショップを実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・講師謝金226千円 市内各事業者への謝金 ・消耗品費 6千円 資料印刷費 ・委託料 528千円 3校8回実施分		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①やぶ暮らし住宅支援奨励金を活用した移住人数（+50人） ②養父市のU・Iターン奨励金に申請してきた件数（+10件） ③将来、養父市に住みたい（戻りたい）学生の割合（+10%）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/kikaku/chihousousei/14029.html

事業概要：都市部の大学サークルと指定棚田地域の連携事業

継続

申請者	兵庫県養父市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,960千円 (1,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	棚田地域振興法に基づく指定棚田地域の一つであり、当市の貴重な観光資源でもある「別宮の棚田」において、都市部の大学サークルと農業者が協働し、遊休農地の解消、生産した米の高付加価値化、地域の魅力の発信等に取り組み、当該地域が有する多面的機能の将来にわたる維持、農業者の確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・人材の確保等のため、2024年に養父市から呼びかけを行い設立した都市部の大学サークルの学生が、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されている地区の別宮に定期的に出向き、水稻の作付けを実践する。 ・地域と協働で遊休農地1筆を作付け可能な状態にし、土づくりや施肥等に関する技術、ブランド化や情報発信等に関する知見を学び、自ら生産した米の収量増・高付加価値化、地域の魅力の発信等に取り組む。 こうした取組を通じて、農業の担い手を確保し地域や農業者の活力を高めるとともに、地域に魅力を感じ専業・兼業で農業を行う移住者に繋げ、荒廃農地が減少していくことを進める。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大学サークルの活動に係る運営費（委託料）900千円 ・ブランド化等に係る研修費（委託料）100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当該棚田における耕作面積（±0㎡、新たな遊休農地を発生させない） ②地域における新規就農者数（研修生を含む）+1人					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yabu.hyogo.jp/sos-hiki/kikakusomu/kikaku/chihousousei/14029.html

事業概要：関宮地区小さな拠点整備事業

継続

申請者	兵庫県養父市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,701,418千円 (180,763千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・養父市関宮地域の核である関宮地域局や診療所が隣接する市有地に、多世代が交流できるコミュニティ施設や、高齢者等の一時滞在型宿泊施設、購買施設等の商業施設等を整備し、地域創生を実現する。 ・高齢者や子ども、若い世代など多世代が集まるための仕掛けを作り、交流人口・関係人口を増加させ、地域の活力の向上を図る。もって、子育て世代の定住人口の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代交流を目的としたコミュニティ施設を中心に、売店やレストランなどの商業施設、薬局、高齢者サロンなどの医療・福祉施設、関宮地域の交通拠点となるバスターミナルを集約した「小さな拠点」を整備する。さらに、居住者密度が低く、一人暮らしの高齢者が多い関宮地区の課題に対応して、豪雪によって孤立する冬季などに、地域内2拠点生活を可能にする短期滞在型施設を複合的に整備する。					関宮小さな拠点施設 完成イメージパース 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 施設工事（二期） 72,747千円 ・備品整備 施設内必要備品 71,914千円 ・効果促進事業（ソフト事業） 整備運営支援事業 17,908千円						
主なKPI	①養父市に住みたいと思う人の割合[地域の人口世帯数]（+85.5%） ②暮らしの中で異なる世代の人とのつながり・つきあいがある人の割合（+87.0%） ③若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合（+78.0%）					URL	https://www.city.yabu.hyogo.jp/sos-hiki/kikakusomu/kikaku/chihousous-ei/14029.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要： 関宮小さな拠点スポーツ公園等整備事業

新規

申請者	兵庫県養父市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	160,000千円 (90,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 養父市関宮地域の核である関宮地域局や診療所が隣接する市有地に、多世代が交流できるコミュニティ施設や、高齢者等の一時滞在型宿泊施設、購買施設等の商業施設等を整備し、地域創生を実現するために「関宮小さな拠点（仮称）」整備を進めている。隣接する市有地に、若者が集えるスポーツ公園等を整備することで、多世代交流の強化を図り、地域全体の活力を創造する。 ・ 高齢者や子ども、若い世代など多世代が集まるための仕掛けを作り、交流人口・関係人口を増加させ、子育て世代の定住人口の増加を目指す。 ・ 関係人口、交流人口の増加を図り、地域産業の維持・発展に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代交流を目的としたコミュニティ施設を中心に、売店やレストランなどの商業施設、薬局、高齢者サロンなどの医療・福祉施設、関宮地域の交通拠点となるバスターミナルを集約した「関宮小さな拠点」を整備している。本施設では活動的な若者世代の居場所となる場所が限られるため、同一敷地内にスポーツ公園等を整備することで、若い世代を誘引し、多世代交流を強化する。 また、それらを整備することで、関係人口・交流人口を増加させ、飲食店や小売店等の地域産業の維持・発展を目指していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・用地造成 スポーツ公園整備 30,000千円 ※関宮農林漁業等健康増進施設 1階ピロティ ・用地造成 関宮コミュニティスポーツセンター体育館解体 60,000千円 ※R9年度にスポーツ公園等を整備するための敷地整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①養父市に住みたいと思う人の割合[地域の人口世帯数]（+21.1%） ②暮らしの中で異なる世代の人とつながり、付き合いがある人の割合（+20.4%） ③居場所（地域子育て支援拠点など）に関する満足度（+51.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yabu.hyogo.jp/sos-hiki/kikakusomu/kikaku/chihousousei/14029.html

事業概要：大阪・関西万博とその先を見据えた誘客促進事業

旧制度（推進）

申請者	兵庫県丹波市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,610千円 (13,418千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興（DMO）等の観光分野
目的・効果	・丹波市の魅力を広くPRし、市の認知度を向上させるとともに、多くの観光客を獲得し地域の賑わいを向上させる。 ・観光客が市内の観光地や地域商店を周遊することで、地域消費の活性化を図る。 ・地域経済が好循環し、裾野の広い観光分野の産業化・高所得化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・万博会場および大阪市内でのPRブースの設置と丹波万博コイン等を活用した市内への誘客促進。 ・デジタルマップや借り上げバスへの補助を活用した市内周遊の促進。 ・観光アンバサダーやPR動画を活用した魅力の発信。		 丹波の恵みを感じる・楽しむ
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市内周遊デジタルマップの運用（委託料）1,452千円 ・借上げバスによる市内周遊に補助金（補助金）3,600千円 ・マップミッションイベントアプリの開発・運営（委託料）3,136千円 ・PR広告業務（委託料）2,130千円 ・観光アンバサダー活動業務（委託料）1,500千円 ・観光アンバサダーパンフレット（印刷製本費）1,600千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①丹波市の観光消費額（+29.5億円） ②丹波市の年間観光入込客数（+24万人） ③デジタルマップ利用者数（+338千人） ④市内道の駅の合計レジ通過客数（+40千人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/sogosesakuka/gyomuannai/8/5/1417.html

事業概要：空き家を活用した食の街区形成事業

継続

申請者	兵庫県南あわじ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,800千円 (9,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	淡路島でしか体験できない文化・芸術レベルとなる「食」を提供する「世界一の食の島」の実現を目指し、先導モデルとして空き家が多数存在する地域に飲食店等を誘致して「食の街区」形成を行う。 多様な主体の参画を得て「食の街区」形成を議論することで、滞在時間の延伸、観光交流人口の増加により観光消費額を向上させ市内経済循環を促し、生産者・観光業従事者の所得向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空き家を活用した飲食店の集積による観光交流人口の増に向けて、以下の事業を行う。 ①多様な主体の参画による検討委員会の開催、②食の街区形成に向けた機運醸成、③食の街区形成に向けた域学連携、④食の街区形成に向けたインセンティブの検討						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①多様な主体の参画による検討委員会の開催 1,100千円 ・委員会開催（謝金、講師派遣手数料） ・エリアマネジメント業務委託 ②食の街区形成に向けた機運醸成 7,000千円 ・機運醸成イベントの開催（委託料） ・デジタルマップ整備 ③食の街区形成に向けた域学連携 500千円 ・高等学校活動費（補助金） ④食の街区形成に向けたインセンティブの検討 1,100千円 ・起業支援補助金の高上げ						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+228億円） ②観光GDP（+183億円） ③地域における飲食店等の新規開店数（+8件） ④地域における宿泊者数（+610百人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/shoku/

事業概要：大鳴門橋自転車道がつなぐ強い地域経済圏創造事業

新規

申請者	兵庫県南あわじ市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	900,000千円 (366,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	大鳴門橋自転車道が完成する好機を見据え、本事業において第一次産業と観光産業が強固に結びついた「強い地域経済圏」を確立し、地域活性化と人口減少・高齢化等の課題克服を目指す。 (1)地場産品の付加価値を最大化し、「食」で稼ぐ地域へと転換する。 (2)交流拠点の整備による、新たな人の流れの創出する。							
事業概要・主な経費	【事業概要】 地域全体で地場産品を活用した商品開発を進めて、地場産品の高付加価値化を図る。また、大鳴門橋自転車道への来訪者をしっかりと本市全体の新たな顧客として受け入れ販路拡大を図るため、(1)自家用車利用による新たな交流人口の受入拠点となる駐車場及び駐車場進入道路の改良。また駐車場満空表示板の整備、(2)周遊促進を図るためのシャトルバスの実証運行、周遊促進イベントの開催に取り組む。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・AIカメラを活用した駐車場満空表示板整備（委託料）50,000千円 ○拠点整備事業 ・淡路島南駐車場交流拠点施設整備工事 128,000千円 ・淡路島南駐車場整備工事 160,800千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 27,200千円 増加する自家用車を安全に拠点施設で受け入れるため道路改良を行う。							
主なKPI	①観光消費額（淡路地域）（+55億円） ②市内入込客数（+50万人） ③新設高速バス停でのバスの停車台数（+58便） ④周遊シャトルバスの利用者数（+5万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/shoukou/jitenshadou.html	

事業概要：世界に誇る食のエリア形成プロジェクト～「神戸」×「世界一の食の島」をめざす淡路島～

新規

申請者	兵庫県南あわじ市ほか4自治体						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,000千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	淡路島の最寄り空港である神戸空港では、国際線定期便就航により2030年には190万人の国際旅客が生まれると見込まれる。この地域活性化の機会を最大限に活かすため、兵庫県と神戸市、淡路島3市が共同で世界に誇る「食」をフックとしたブランディングを行うことにより、大都市圏から地方部へ経済効果を波及。 世界的なクライテリアの獲得による神戸・淡路地域のブランド向上のほか、魅力発信イベントや神戸空港を活用した訪日プロモーション、食の観光プログラムの磨き上げ、食を支える地方創生料理人の育成などにより地方におけるインバウンド受入環境を強化し、より一層強い地域観光経済を実現。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域産業クラスター形成に向けた観光産業の付加価値向上に向けて、以下の事業を行う。 ①食のエリアとしてのブランド価値の向上、②食を目的とした旅行者の増加、③食のエリアとしての受入基盤の整備、④食を支える人材の育成						 世界に誇る 食のエリアの形成 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①食のエリアとしてのブランド価値の向上 25,000千円 世界的なクライテリア獲得によるブランド価値向上（委託料） ②食を目的とした旅行者の増加 4,000千円 食の魅力発信イベントの開催（委託料）等 ③食のエリアとして受入基盤の整備 12,000千円 食の観光プログラムの開発及び磨き上げ ④食を支える人材の育成 9,000千円 地方創生料理人の育成（委託料）等							
主なKPI	①外国人宿泊者数（神戸・淡路地域）（+75万人） ②観光消費額（神戸・淡路地域）（+441億円） ③観光GDP（神戸・淡路地域）（+300億円） ④地域産業クラスターとして民間企業や大学等の参画による食をフックとした取組の件数（+6件） ⑤広域連携による「食」にまつわる観光コンテンツの新規造成数（+5件）						URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/shoku/

※兵庫県、神戸市、洲本市、南あわじ市、淡路市による広域連携事業

事業概要：「となリリゾート。淡路市」を核とする地域周遊型観光コンテンツ造成プロジェクト

申請者	兵庫県淡路市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,392千円 (44,016千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・魅力的な観光資源を掘り起こし、地域周遊型の観光コンテンツを造成する。 ・まち歩きの推進により、観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加を図る。 ・2025大阪・関西万博を契機とする国内外からの誘客に対応するための基盤を構築し、さらなる観光振興を図る。 ・デジタル技術を活用した観光案内の拡充により、市内の観光人材の育成・向上を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 リトリートをテーマとする「となりリゾート。淡路市」コンセプトのデジタルマップ地域 周遊コンテンツ造成事業を実施する。加えて、最先端技術であるアバターを活用した市マスコットキャラクターによる観光等の案内業務を関西国際空港・淡路ハイウェイオアシスで継続して行う。また、「となりリゾート。淡路市」公式ホームページの多言語環境整備（英語・簡体字・繁体字台湾・繁体字香港・韓国語）を行うほか、インバウンド向けに観光ガイドブック（多言語版）のツアー商品を造成することで、旅行会社とのBtoB商談等による販路拡大を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光DXコンテンツ造成事業（委託料）19,246千円 ・アバターサービス費用（委託料）6,633千円 ・観光特化型PRサイト多言語切替機能等追加（委託料）5,351千円 ・地域コーディネーターツアー販路拡大事業（委託料） 3,664千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①淡路市の観光消費額 （+6,707,280千円） ②岩屋観光案内所における電動アシスト自転車の年間利用者数（+1,523人） ③淡路島内における淡路市の観光入込客数の割合（+12%） ④淡路市公式Instagram「Iineawaji」のフォロー数（+2,202人）		URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的用途・実施体制) https://www.city.awaji.lg.jp/soshiki/kankou/47257.html (効果検証) https://www.city.awaji.lg.jp/soshiki/kankou/47257.html (となりリゾート淡路市公式ホームページ) https://tonari-rezort-awajishi.jp/

事業概要：一級河川下川周辺整備事業

新規

申請者	兵庫県加東市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	77,372千円 (77,372千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・にぎわいの創出が生み出す地域ポテンシャルの向上によって、民間投資を呼び込み、さらなる都市機能の充実を図るとともに、住民の満足度・定住意向の向上を通じて地域の活力維持につなげる。 ・日常的な滞在・回遊を生み出すとともに、市内施設利用を促すことで、交流人口の拡大を実現させ、地域活力の維持がもたらす影響との相乗効果によって、観光産業・商工業の持続的な発展を図り、ひいては地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な都市機能の集積を目指す「まちの拠点」における貴重な地域資源である一級河川下川周辺において、都市機能の充実を求める住民ニーズへの対応による地域活力の維持や交流人口の拡大による地域経済の発展に向けて、日常的に人が集う憩いとにぎわいの空間を整備する。加えて、これまでに整備したまちの拠点施設（交流施設、バスターミナル等）等との一体的な活用や多様な主体との連携により回遊・滞在・消費機会の拡大を図り、恒常的ににぎわいの創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業新設 ・下川周辺設備整備 75,902千円 ・【備品整備】展示（掲揚）・装飾備品 509千円 ・【効果促進事業（ソフト事業）】掲揚物消耗品 961千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数（+37万人） ②まちの拠点への民間事業者進出数（+4者） ③にぎわい交流施設「haIK」待合交流ラウンジ利用者数（+23千人） ④まちの拠点におけるイベント参加者数（+3千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kato.lg.jp/kakukano-goannai/machidukuriseisakubu/kikakuseisaku/seisakusuishin/chiikimiraikoufukin/17712.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：持続可能な観光地域づくりと観光誘客事業の展開

継続

申請者	兵庫県たつの市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,168千円 (10,629千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	観光振興計画の策定により、観光立市として目指すべき方向性を示すとともに、行政・観光協会、事業所、市民の位置付け、役割を明確化し、観光の発展を図る。（観光振興計画策定に向けた基礎データ収集のため、人流データの収集分析調査を実施する。） 旅行や観光に強みを持つインフルエンサーによる、SNSでの情報発信や圏域内を巡る謎解き宝探しゲーム、フォトコンテストを実施することで多様な世代の観光誘客に努める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市への来訪者の人流調査を行い、属性の分析結果を観光振興計画の基礎データとして活用する。 旅行や観光に強みを持つインフルエンサーによるSNSでの情報発信や圏域内を巡る謎解き宝探しゲーム、フォトコンテストを実施し、観光誘客に努める。						
	----- 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・PRチラシ、ポスターの作成（印刷製本費）129千円 ・周遊型観光イベントの実施（委託料）9,000千円 ・インフルエンサーの招聘（委託料）1,000千円 ・大阪駅イベント周知活動（会場使用料）500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光入込客数 +45万人 ②圏域内観光地を周遊するイベント参加者 +9,000人 ③道の駅における観光消費額 +15,000千円					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tatsuno.lg.jp/teiju-jiritsu/8438.html

事業概要：道の駅「杉原紙の里・多可」を核とした食・体験の受入機能強化による農業・観光の消費拡大事業

新規

申請者	兵庫県多可町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,000千円 (16,000千円)
事業類型	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	＜事業目的＞ 道の駅「杉原紙の里・多可」を地元食材の需要ハブ(地場産業支援の中核拠点)として機能強化し、農業(供給)と観光(消費)をつなげて、町内での消費・付加価値・所得・雇用の循環を拡大する。 ＜事業効果＞ 1. 観光消費の底上げ 提供力と会計の改善で待ち・買い控えを減らし、道の駅起点の飲食/物販/体験の消費を増やす。回遊が進み、滞在と町内消費が伸びる。 2. 農業所得・生産基盤の安定 販売が安定して需要が読めるようになり、作付・出荷計画が立てやすくなる。地元調達が増え、出荷継続と所得向上につながる。 3. 付加価値の域内還流 地元食材を料理・商品・体験として高付加価値化し、粗利改善・ロス削減で域内に残る価値を増やす。食×体験企画で周辺事業者にも波及する。 4. 人材不足でも受入品質を維持 省力化で少人数運営を可能にし、繁忙期も品質と営業を安定化。満足度・再訪が高まり、関係人口拡大につながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 需要のハブ化 セルフ化+多様決済で作業滞留を減らし、繁忙期の提供力と客単価を上げる。 農業と連動 販売データで需要を読み、地元食材の安定調達と名物・季節商品化を進める。 観光と連動 食を起点に体験・周辺へつなぎ、回遊と滞在を伸ばす。 共同改善の定着 データ分析で商品・販促を回し、事業者連携を継続的な仕組みにする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●レストランのセルフ運用を前提とした施設改修・導線整備……9,000千円 ・受注・提供・返却導線の再設計、・提供体制(受け渡し口等)の整備 ●デジタル食券機・セルフレジ、および多様決済の導入……7,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①道の駅「杉原紙の里・多可」を起点とする「観光消費額(推計)」(+8,000千円) ②地元調達比率(地場産業への還流率)(+16%)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://https://www.town.taka.lg.jp/category_guide/contents_type=613 (実施後掲載予定のリンク先)

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：上郡町観光交流宿泊施設リニューアル整備事業

新規

申請者	兵庫県上郡町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	530,904千円 (172,514千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地場産業の「稼ぐ力」を最大化し、環境共生と地域幸福度（Well-being）を両立するモデルを構築する。 地域資源を活かした地場産業の付加価値向上を図り、持続可能な地域経済の循環を創出する。 ピュアランド山の里を単なる宿泊施設から、外需を獲得するための高付加価値な体験・宿泊拠点へと転換し施設内完結に留まらない、町内全域への波及効果を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町の特産品であるモリンガやぶどう等の資源を活用し、薬草風呂や食等の高付加価値な体験コンテンツとしてパッケージ化する。シェアキッチンでの新商品開発や、コワーキング空間を通じた外部知見の注入により、地場産業の経営革新を支援。さらに、宿泊客を町内全域へ誘導し、地域全体の消費拡大を図る。省エネ・再エネ導入とDXによる低コスト経営を確立し、10年後の指定管理料ゼロ化を見据えた自律的な経営基盤を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光関連事業者等の支援（補助金）200千円 ・地場産品開発等支援（補助金）600千円 ・地場産品PR事業（旅費）606千円、PR動画作成 650千円 ・イベント開催事業（補助金）1,247千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 拠点整備 162,000千円 ・施設備品整備 7,211千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設を起点とした「地場産品・地域サービス」への経済波及額（+51,548千円） ②インバウンド宿泊客数（+1,500人） ③連携する町内事業所数（+30事業所） ④イベント等参加者数（+2,400人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kamigori.hyogo.jp/soshiki/chiiki/7808.html

事業概要：リフレッシュパークゆむら再生地域活性化拠点整備事業

継続

申請者	兵庫県新温泉町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,319,849千円 (705,500千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域資源である温泉と健康の相乗効果を活かした観光産業の振興拠点として、リフレッシュパークゆむらをリニューアルすることで、地域外からの観光誘致、ワーケーションなど新たな湯治スタイル導入による滞在長期化、関係人口の拡大に伴う地域への波及効果として観光消費額の増加を図り、地域の経済活動の活性化や雇用の拡大、観光客・移住者の増加に繋がり経済の好循環を生み出す。 また、温泉が持つ効果効能と多機能プールを活かして住民の運動習慣の定着化を目指し、幼少の頃から泳力と体力を養い、施設に親しむことで地域への愛着を生み、働く世代には運動の機会と癒しの場の提供により心身の健康を保つことで、より働きやすい地域となり、高齢者にとっても運動習慣の定着による健康寿命の延伸を図るよう、施設空間を整備することで地域活性化の拠点としての役割を強化し多世代にわたり定住を促す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 プール棟を改築し、観光レジャー、エクササイズ等多機能なプールへとリニューアルするとともに、軽飲食スペースや屋外デッキスペースなどの施設空間を地域活性化拠点として整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 リフレッシュパークゆむらのリニューアル 705,500千円 ・リフレッシュパークゆむら改築工事 建築物本体工事 555,348千円 設備工事 144,652千円 工事監理（委託料） 5,500千円						
主なKPI	①町内観光消費額（+350百万円） ②域内の宿泊者数（+14,250人） ③リフレッシュパークゆむらの来館者数（+31,000人） ④リフレッシュパークゆむらの売上額（+24,000千円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/?mode=detail&page_id=289f1a638503f6130ff6c06981b7a91e

事業概要：ぽかぽか子育て王国の応援ネットワーク事業

継続

申請者	兵庫県新温泉町						初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,848千円 (4,503千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	スポーツ等指導員、交通安全ボランティアなど、地域全体で子育て世代や子どもたちを応援するネットワークづくりを推進する。移住検討者に安心できる子育て環境がある町として選んでもらえる町づくりを目指す 地域住民のデジタルネットワークの構築により、伝統文化継承、女性・若年層のシビックプライド醸成、地域全体の活性化、地域活動の維持など、今まで取り組んでいない切り口から人口減少対策に取り組む。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○「ぽかぽか子育て王国」をうたい、デジタルの切り口からの人口減少対策を促進する。 ○デジタル人材研修 デジタルデバйд対策のスマートフォン教室と連動して、促進できるように アプリ活用の研修を実施する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・アプリ 運用費 3,288千円 ・普及促進事業 830千円 ・シビックプライド醸成事業 385千円							
主なKPI	①応援ネットワークの形成で移住・定住を決意できた世帯数（+80世帯） ②居住地域以外の祭り等に参加し、地域文化の継承に寄与した児童・生徒数（+100人） ③ 部活動（地域移行前含む）の連絡網として活用した中学生数（+270件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/?mode=detail&page_id=289f1a638503f6130ff6c06981b7a91e

事業概要：廻船問屋千原屋道盛邸整備事業

新規

申請者	兵庫県新温泉町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	273,347千円 (26,303千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・廻船問屋千原屋道盛邸を改修し、日本遺産等の歴史文化を「観る・学ぶ」拠点として保全継承し、地域の誇りを高める。 ・情報発信と体験・休憩・宿泊機能を整え、周遊と滞在の長期化を促進して観光消費を拡大し、町内全域へ効果を波及させる。 ・住民主体の運営体制で交流と関係人口を拡大し、水産加工品販売や飲食等による雇用創出と地場産業の付加価値向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新温泉町諸寄にある歴史的建築物「廻船問屋千原屋道盛邸」(木造瓦葺2階建8棟)を模様替え・改修し、地域活性化拠点として整備する。日本遺産「北前船寄港地・船主集落」等の歴史文化を「観る・学ぶ」展示機能を核に、情報発信と住民・来訪者交流、芸術文化の創作・発信、体験、休憩(食事・宿泊)機能を備え、周遊・滞在を促進。地元水産加工品販売等と連動し、雇用創出と地場産業の付加価値向上につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 模様替え・改修工事 ・基本設計業務費 6,862千円 ・実施設計業務費 19,441千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内の観光客人数 (+500千人) ②域内の宿泊・日帰観光客人数 (+60,850人) ③来館者数 (+11,000人) ④売上額 (+700千円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/?mode=detail&page_id=289f1a638503f6130ff6c06981b7a91e

事業概要：居組漁港における海業推進拠点施設整備事業

新規

申請者	兵庫県新温泉町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	337,146千円 (35,244千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・海業により漁港の泊地利用も可能となるため、新たにSUPやカヤックなどマリナクティビティ事業を行う観光振興の拠点とします。 ・現在の海水浴中心の夏季営業から、拠点施設に飲食や物販スペースを設け通年営業にすることで、地域雇用を生む施設を目指す。 ・「麒麟獅子舞」「北前船寄港地・船主集落」など、この地域の歴史文化に触れ、学習・体験する機会の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の雇用の場、憩いの場として賑わっていた居組漁港は、近年、漁港の役割を終え、その賑わいが失われつつあります。居組漁港は令和5年に水産庁の「海業振興モデル地区」に選定され、地域住民と関係団体等が漁港の活用方法を検討した結果、現在、地域で夏季に海の家として活用している町有施設を海業推進拠点施設として再整備し、従来の海水浴事業やキャンプ事業に加え、新たに漁港泊地を利用したマリナクティビティ事業も加えた観光振興の拠点として、飲食や物販スペースを設けた通年利用可能な経済振興の拠点として活用します。					現在の施設 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・海業推進拠点施設整備 実施設計 35,244千円 (既存施設解体設計含む)					整備後イメージ図 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+250百万円） ②町内観光入込客数（+115千人） ③町内海水浴場入込数（+14千人） ④施設売上収入（3,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/?mode=detail&page_id=289f1a638503f6130ff6c06981b7a91e